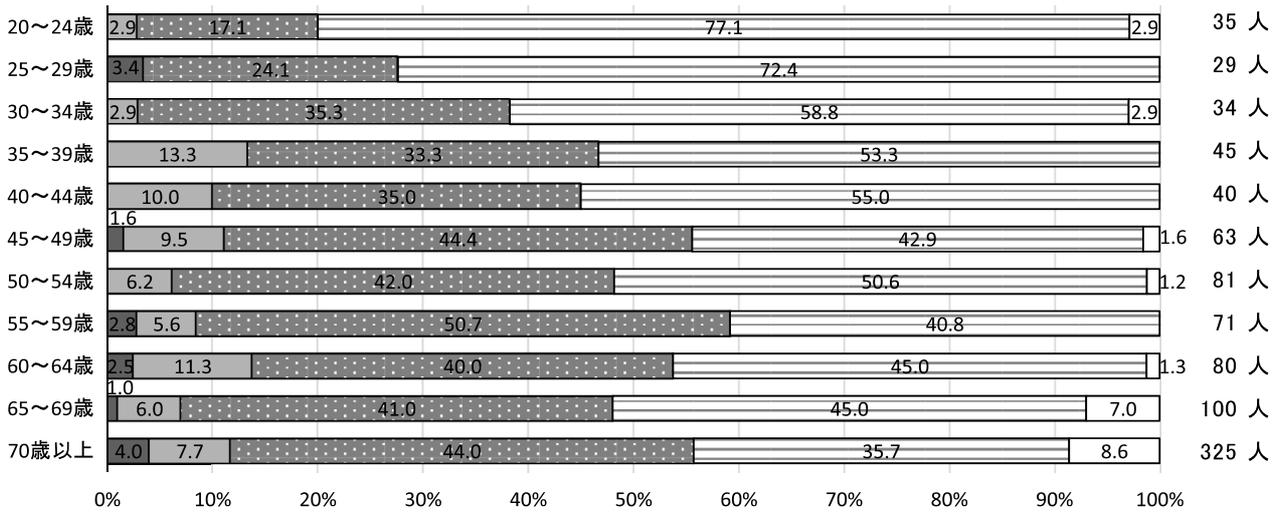


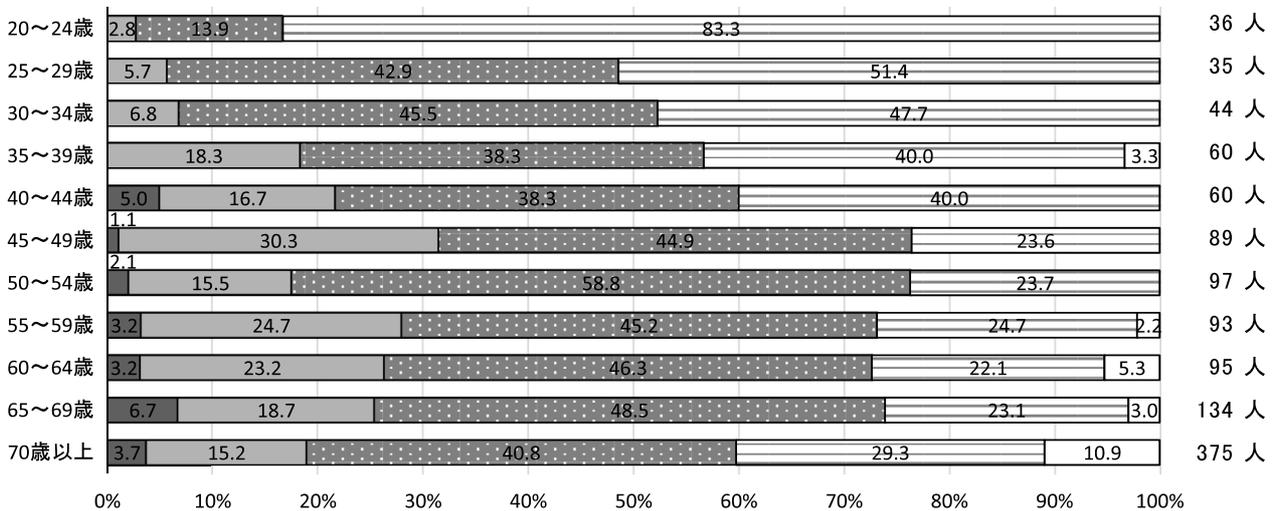


問 27 女性センター（らぽーるひたち）の利用状況

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■よく利用する □ 1, 2度利用したことがある ■ 利用していないが、知っている □知らない □不明

男女別・年齢別にみると、男性の20代・30代前半では、利用率が5%未満とかなり低く、さらに20代では「知らない」割合が7割以上となっている。

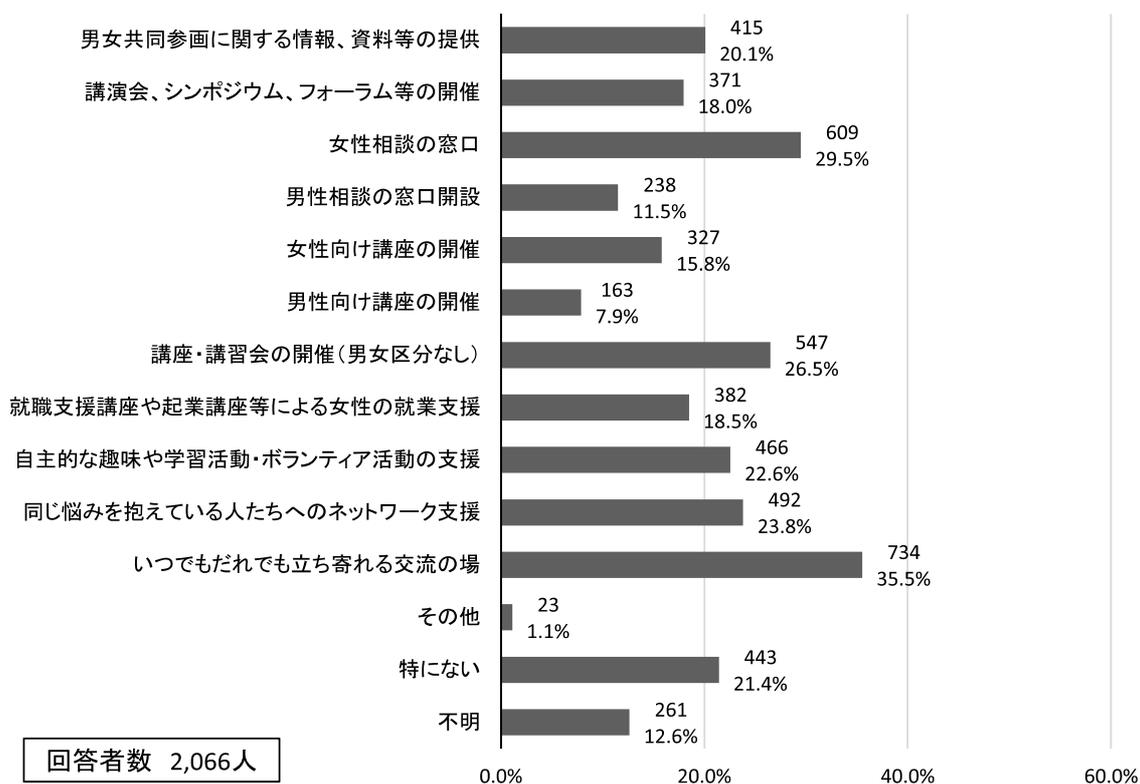
一方、女性では、男性と同様に、20代・30代前半での利用率が1割未満と低く、特に「知らない」割合が若年層で高く、20代前半では8割、20代後半から40代前半の年齢層では4割から5割となっており、男女共に若い世代への周知が重要であると考えられる。

## (2) 女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割

問 28 あなたは、この「女性センター（らぼーるひたち）」にどのような役割を期待しますか。  
（すべて選択）

- 1 男女共同参画に関する情報、資料等の提供
- 2 講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催
- 3 女性相談の窓口
- 4 男性相談の窓口開設
- 5 女性向け講座の開催
- 6 男性向け講座の開催
- 7 講座・講習会の開催（男女区分なし）
- 8 就職支援講座や起業講座等による女性の就業支援
- 9 自主的な趣味や学習活動・ボランティア活動の支援
- 10 同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援
- 11 いつでもだれでも立ち寄れる交流の場
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

### 問 28 女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割



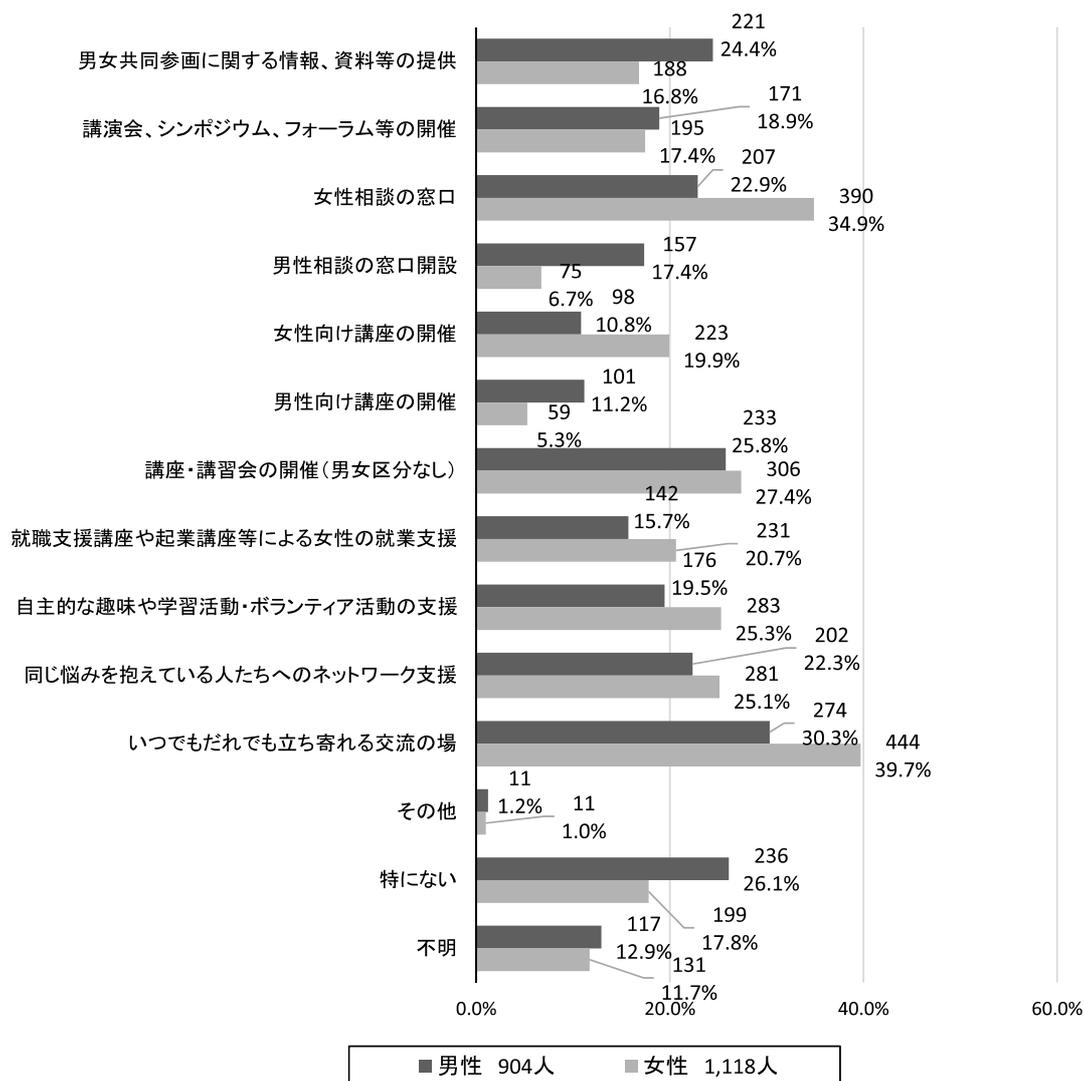
#### ■その他の回答（抜粋）

- ・男女差別ではなく、女性の育児と仕事の両立への支援
- ・活動内容が不明
- ・深夜利用
- ・女性センターという名称が悪すぎる
- ・電話相談やLINEで気軽に相談
- ・場所的に交通手段が難しい
- ・ある一部分の人達の組織であってはならない
- ・らぼーるひたちのそもそもの情報がない
- ・健康診断
- など

女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割については、「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」の割合が35.5%が最も高く、次いで「女性相談の窓口」（29.5%）、「講座・講習会の開催（男女区分なし）」が26.5%となっている。

また、「その他」では、そもそも「活動内容が不明」等の意見が散見される。

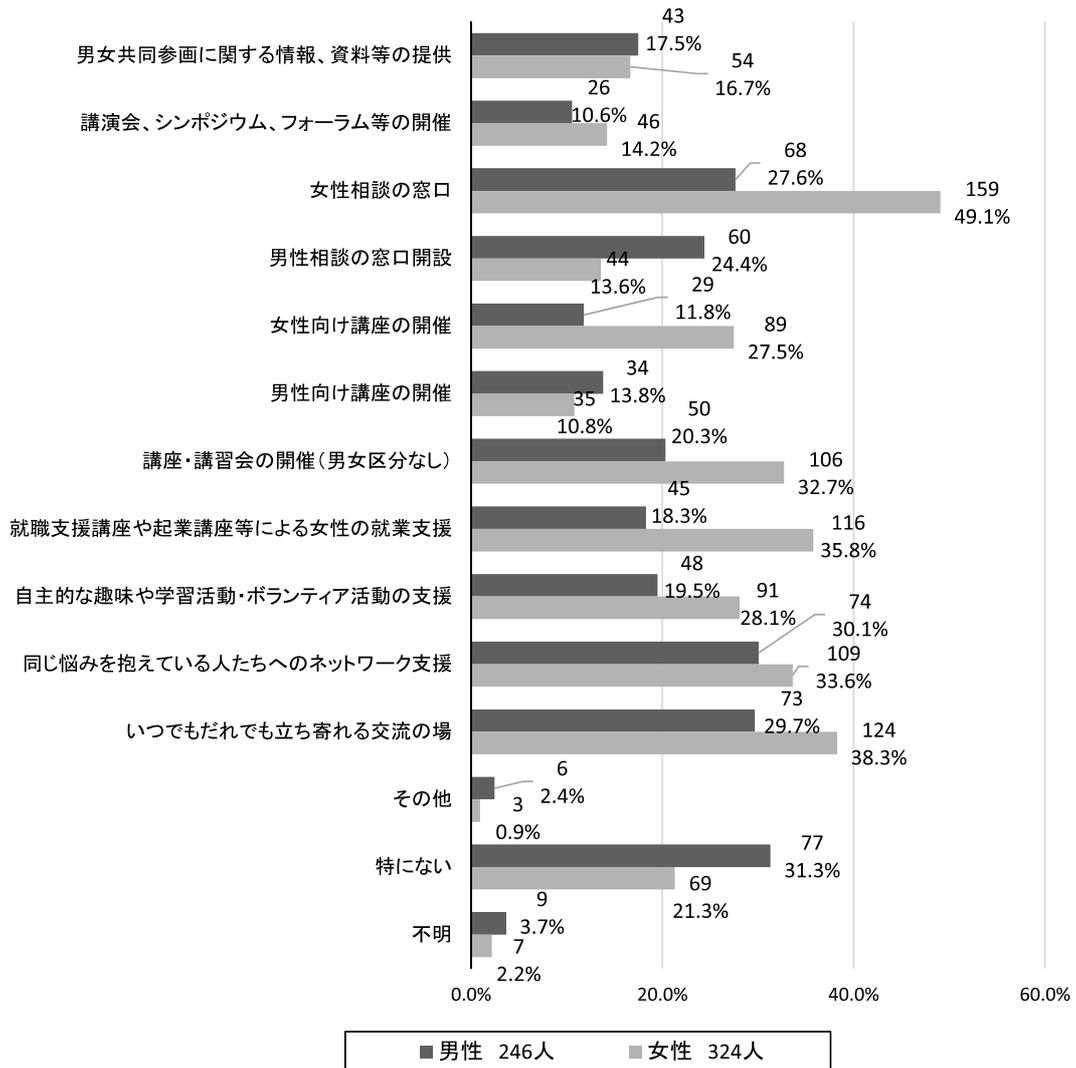
### 問 28 女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割【男女別】



男女別にみると、男性では「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」（30.3%）、「講座・講習の開催（男女区分なし）」（25.8%）、「男女共同参画に関する情報、資料等の提供」（24.4%）などの割合が高く、どちらかといえば女性に限らず誰もが使える施設としての役割が求められている。

一方、女性では、男性と同様に「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」（39.7%）とともに、「女性相談の窓口」（34.9%）の割合が高くなっており、女性へのサポート拠点施設としても期待されている。

問 28 女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割【男女別・50歳未満】



50歳未満でみると、男性では、「同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援」が30.1%で最も高い割合となっており、比較的若い年齢層では、悩みを共有できる人たちをつなぐサポーターとしての役割が求められている。

一方、女性では、「女性相談の窓口」が約半数の人に求められており、その他「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」、「就職支援講座や起業講座等による女性の就業支援」等の役割が求められている。

問 28 女性センター（らぼーるひたち）に期待する役割

【男性・年齢別】

（上段：回答数、下段：割合）

		1位		2位		3位	
20～ 24歳	女性相談の窓口＝男性相談の窓口開設	12	女性相談の窓口	13	男女共同参画に関する情報、資料等の提供＝ 就職支援講座や起業講座等による女性の就業 支援＝いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	9	
		34.3				25.7	
25～ 29歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	12	女性相談の窓口	10	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	10	
		41.4				34.5	
30～ 34歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	10	女性相談の窓口	9	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	9	
		29.4				26.5	
35～ 39歳	女性相談の窓口	14	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	13	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	11	
		31.1				28.9	24.4
40～ 44歳	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	14	男性相談の窓口開設	10	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	9	
		35.0				25.0	22.5
45～ 49歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	22	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	21	自主的な趣味や学習活動・ボランティア 活動の支援	17	
		34.9				33.3	27
50～ 54歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	25	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	23	講座・講習会の開催（男女区分なし）	21	
		30.9				28.4	25.9
55～ 59歳	男女共同参画に関する情報、資料等の提供＝女性相談の窓口＝同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援＝いつでもだれでも 立ち寄れる交流の場	26	女性相談の窓口	22	男女共同参画に関する情報、資料等の提供＝ 講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催	21	
		32.5				27.5	26.3
65～ 69歳	講座・講習会の開催（男女区分なし）	32	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	26	男女共同参画に関する情報、資料等の提供＝ 講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催	22	
		32				26	22
70歳 以上	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	100	男女共同参画に関する情報、資料等の 提供	91	講座・講習会の開催（男女区分なし）	87	
		30.8				28	26.8

【女性・年齢別】

（上段：回答数、下段：割合）

		1位		2位		3位	
20～ 24歳	女性相談の窓口	17	就職支援講座や起業講座等による女性 の就業支援	16	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	15	
		47.2				44.4	41.7
25～ 29歳	女性相談の窓口	21	講座・講習会の開催（男女区分なし）	16	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	15	
		60				45.7	42.9
30～ 34歳	女性相談の窓口	22	就職支援講座や起業講座等による女性 の就業支援	20	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	18	
		50				45.5	40.9
35～ 39歳	女性相談の窓口	32	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	27	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	24	
		53.3				45	40
40～ 44歳	女性相談の窓口	24	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	22	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	19	
		40				36.7	31.7
45～ 49歳	女性相談の窓口	43	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	33	講座・講習会の開催（男女区分なし）	32	
		48.3				37.1	36
50～ 54歳	女性相談の窓口	43	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	35	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	33	
		44.3				36.1	34
55～ 59歳	女性相談の窓口	46	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	36	講座・講習会の開催（男女区分なし）	34	
		49.5				38.7	36.6
60～ 64歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	39	女性相談の窓口	38	同じ悩みを抱えている人たちへのネット ワーク支援	33	
		41.1				40	34.7
65～ 69歳	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	65	女性相談の窓口	41	自主的な趣味や学習活動・ボランティア 活動の支援	38	
		48.5				30.6	28.4
70歳 以上	いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	145	自主的な趣味や学習活動・ボランティア 活動の支援	73	講座・講習会の開催（男女区分なし）	71	
		38.7				19.5	18.9

男女別・年齢別にみると、男性では、「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」が全ての年齢層において上位に入っているが、「同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援」は、30代後半から50代の働き盛りで上位に入っており、現役世代の男性は、様々な悩みを抱え、誰かと共有し合えるつながりを求めていることがうかがえる。

女性では、60歳以上の高齢層では「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」が最も求められているが、60歳未満の年齢層では「女性相談の窓口」が1位であり、現役世代の女性は相談できる場を女性センターに求めている。

### (3) 市が行っている現在の取組の評価

問 29 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、市が行っている現在の取組について、どのように評価しますか。(各項目 1つ選択)

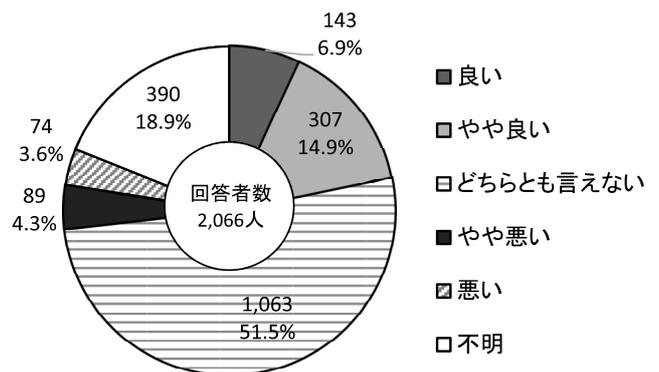
	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
(1)男女共同参画に関する情報提供や啓発を行っている	5点	4点	3点	2点	1点
(2)政策決定に女性の意見や視点を生かしている	5点	4点	3点	2点	1点
(3)保育や介護の施設やサービスが充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(4)男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育が充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(5)男女の生き方に関する相談や交流の場を提供している	5点	4点	3点	2点	1点

#### ア 男女共同参画に関する情報提供や啓発

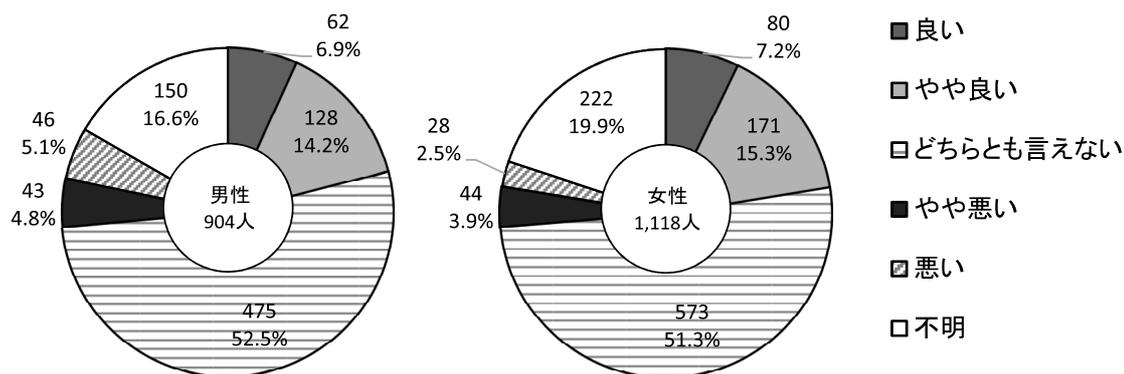
市が行っている現在の取組の評価をみると、男女共同参画に関する情報提供や啓発については、「良い」が6.9%、「やや良い」が14.9%で、「良い」評価の合計は21.8%となっている。

一方、「悪い」は3.6%、「やや悪い」は4.3%で、「悪い」評価の合計は7.9%となっている。

問 29 (1) 男女共同参画に関する情報提供や啓発



問 29（1）男女共同参画に関する情報提供や啓発【男女別】

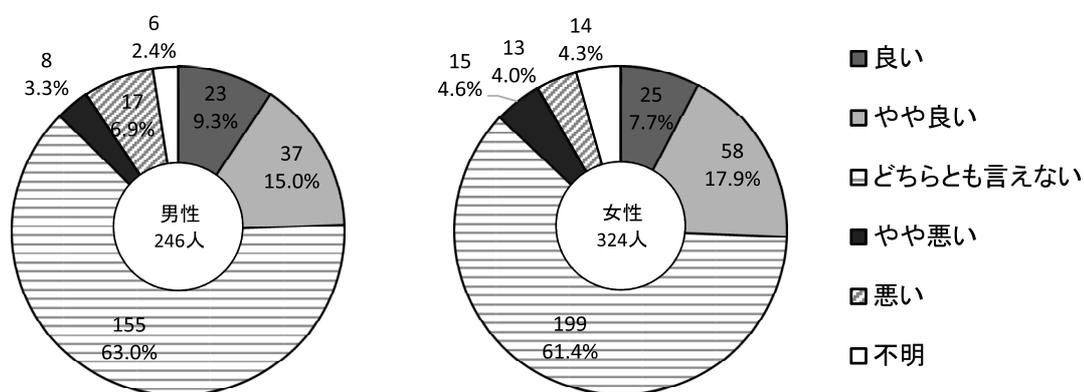


男女別にみると、“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）は、男性が21.1%、女性が22.5%で、“悪い”評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）は、男性が9.9%、女性が6.4%となっており、女性の方が若干プラスに評価している。

前回調査と比較すると、男女共に“良い”評価が若干上昇（男性：18.7%→21.1%、女性 19.4%→22.5%）している。

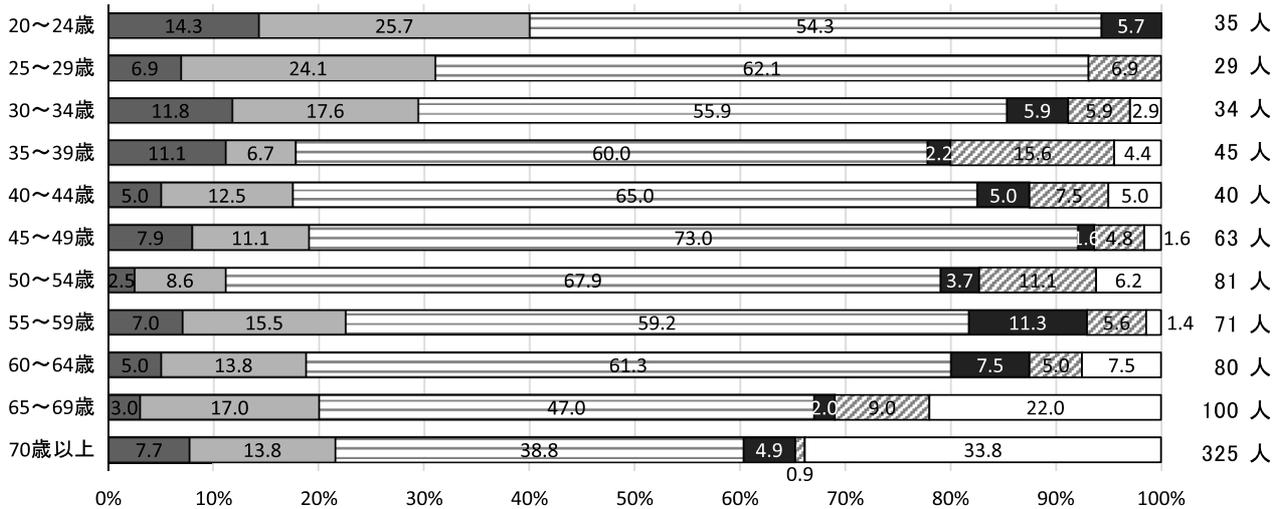
50歳未満でみると、“良い”評価は、男性が24.3%、女性が25.6%で、“悪い”評価は、男性が10.2%、女性が8.6%で、全体と同様に、女性の方が若干プラスに評価しており、男性に向けた男女共同に関する情報提供や啓発が課題と考えられる。

問 29（1）男女共同参画に関する情報提供や啓発【男女別・50歳未満】

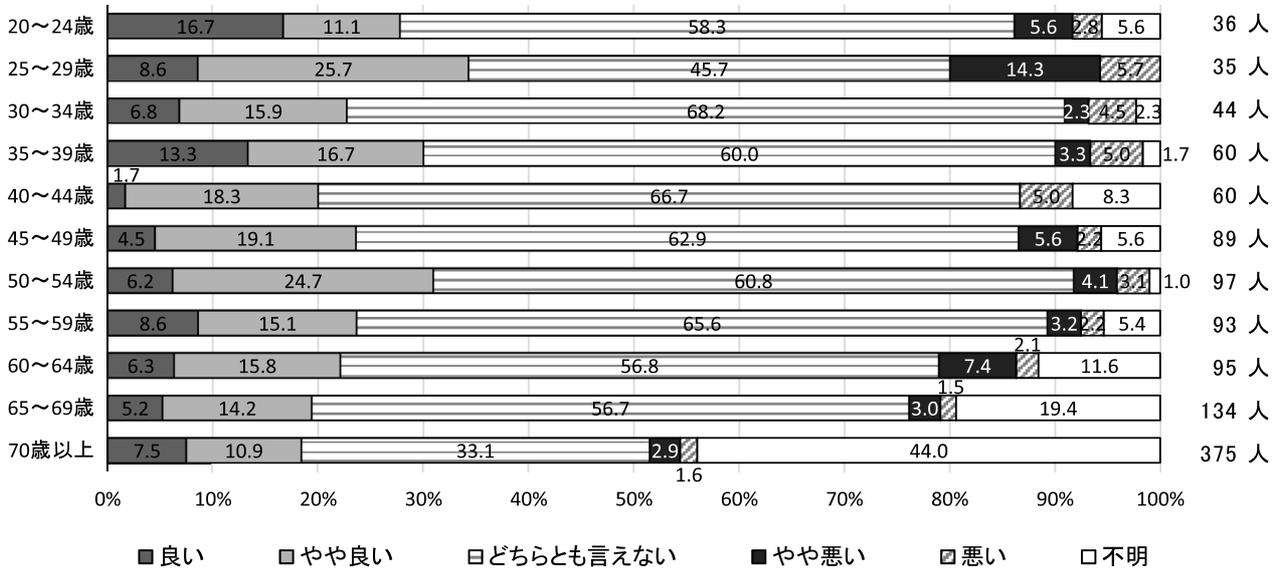


問 29（1）男女共同参画に関する情報提供や啓発

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■良い □やや良い □どちらとも言えない ■やや悪い □悪い □不明

男女別・年齢別にみると、男性では、20代や30代前半の若い年齢層で“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）の割合が高くなっているが、30代後半や40代前半、50代の年齢層では比較的“悪い”評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）の割合が高くなっており、男性の働く世代に向けた情報提供や啓発の必要性がうかがえる。

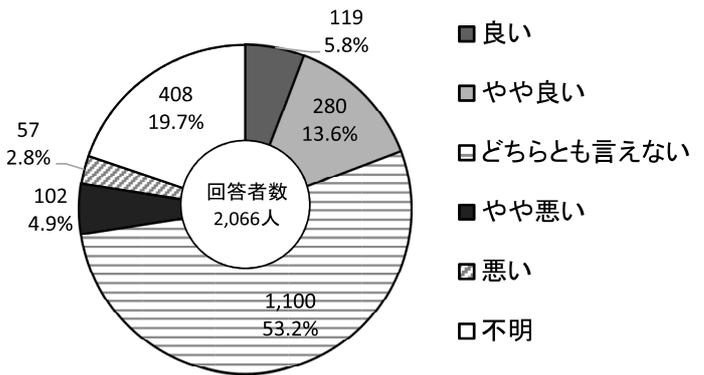
一方、女性では、20代から60代までの幅広い年齢層で“良い”評価が概ね2割を超えている状況にある。

## イ 政策決定に女性の意見や視点を生かす

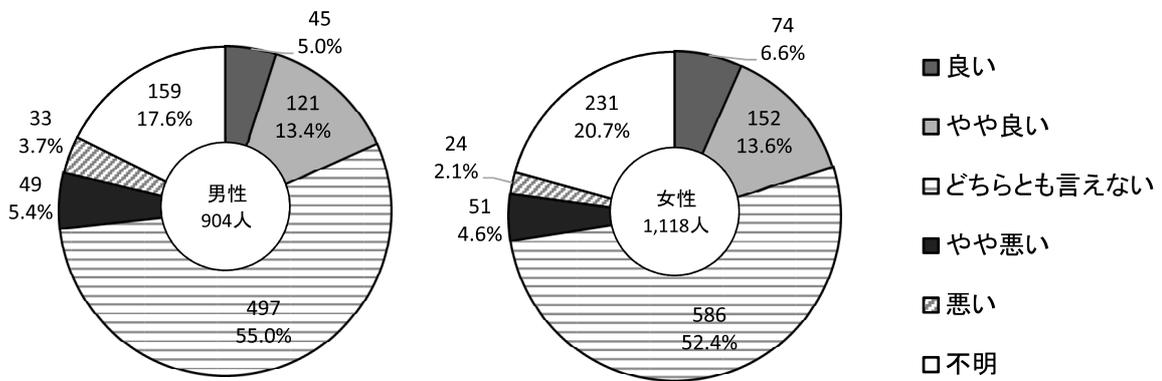
政策決定に女性の意見や視点を生かすことについては、「良い」が 5.8%、「やや良い」が 13.6%で、“良い”評価の合計は 19.4%となっている。

一方、「悪い」は 2.8%、「やや悪い」は 4.9%で、“悪い”評価の合計は 7.7%となっている。

問 29（2）政策決定に女性の意見や視点を生かす



問 29（2）政策決定に女性の意見や視点を生かす【男女別】

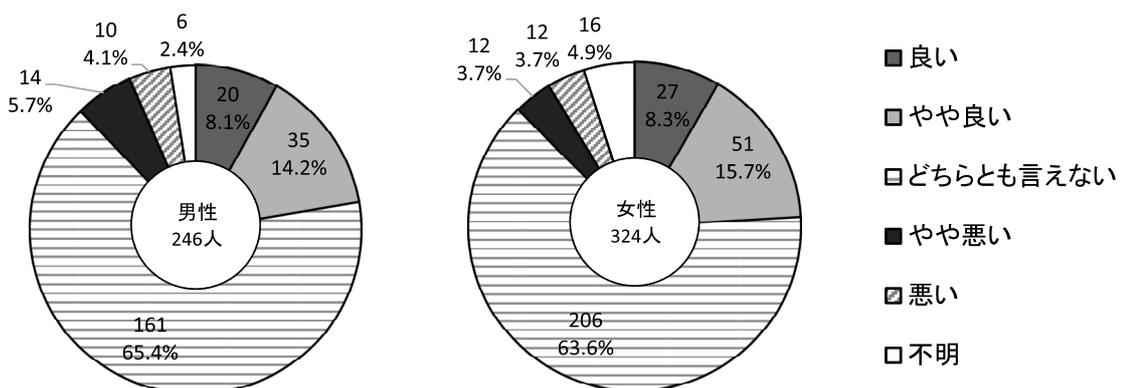


男女別にみると、“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）は、男性が 18.4%、女性が 20.2%で、“悪い”評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）は、男性が 9.1%、女性が 6.7%となっており、男女共にプラス評価は低くなっている。

それでも、前回調査と比較すると、男女共に“良い”評価は上昇（男性：14.7%→18.4%、女性：15.8%→20.2%）している。

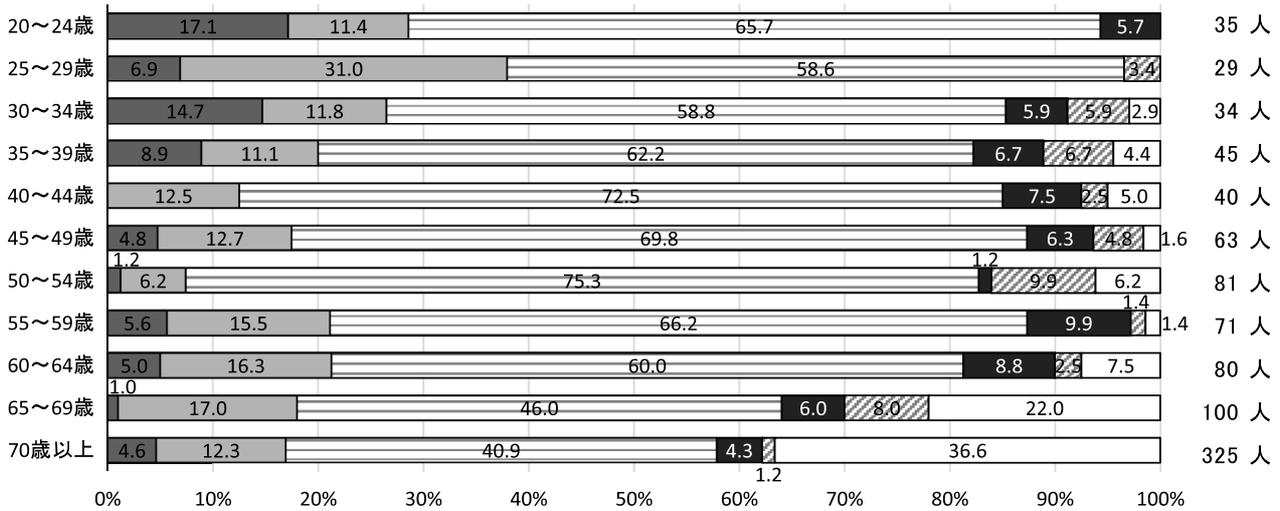
50歳未満でみると、“良い”評価は、男性が 22.3%、女性が 24.0%で、“悪い”評価は、男性が 9.8%、女性が 7.4%で、全体と同じような傾向を示しており、政策決定に女性の意見や視点を生かす取組をさらに進めることが課題と考えられる。

問 29（2）政策決定に女性の意見や視点を生かす【男女別・50歳未満】

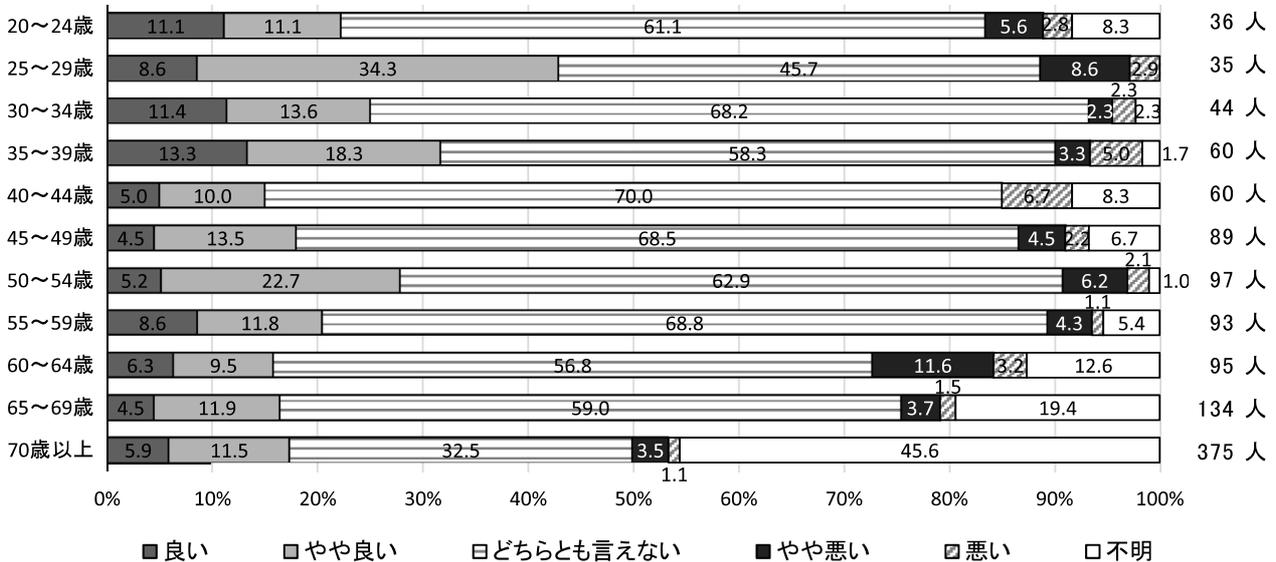


問 29 (2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では、20代や30代前半の若い年齢層で“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）の割合が比較的高くなっているが、40代・50代前半では、2割未満で低くなっている。

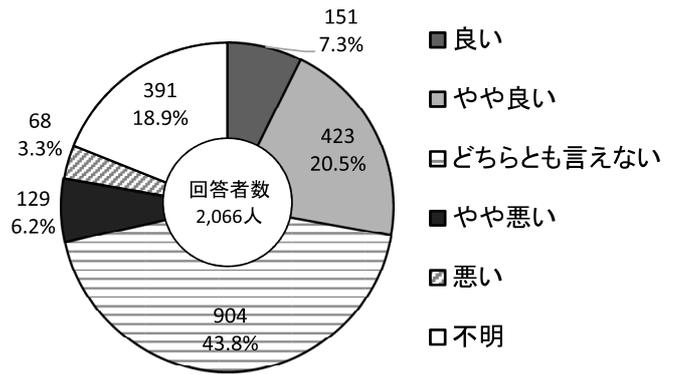
一方、女性では、20代・30代の若い年齢層で“良い”評価の割合が高くなっているが、40代以上の年齢層では概ね低くなっており、中高年層の女性の意見や視点の取り入れ方が課題と考えられる。

## ウ 保育や介護の施設やサービスの充実

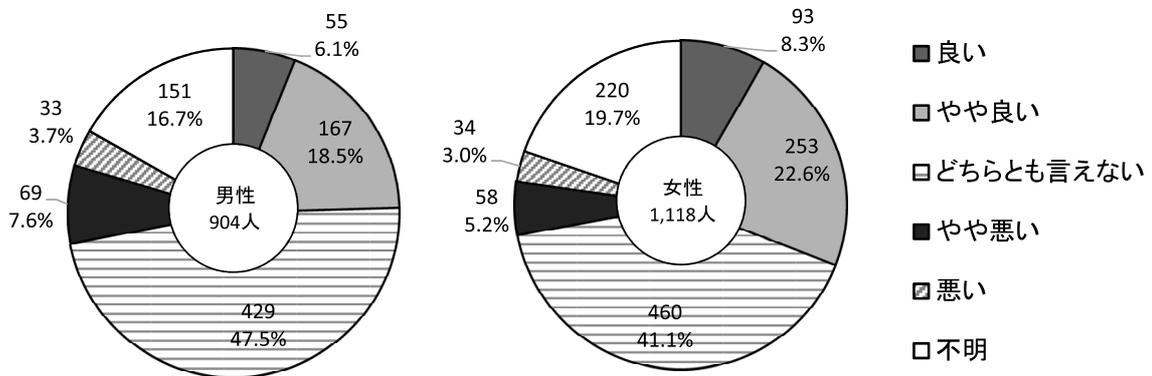
保育や介護の施設やサービスの充実については、「良い」が7.3%、「やや良い」が20.5%で、“良い”評価の合計は27.8%となっている。

一方、「悪い」は3.3%、「やや悪い」は6.2%で、“悪い”評価の合計は9.5%となっている。

問 29 (3) 保育や介護の施設やサービスの充実



問 29 (3) 保育や介護の施設やサービスの充実【男女別】

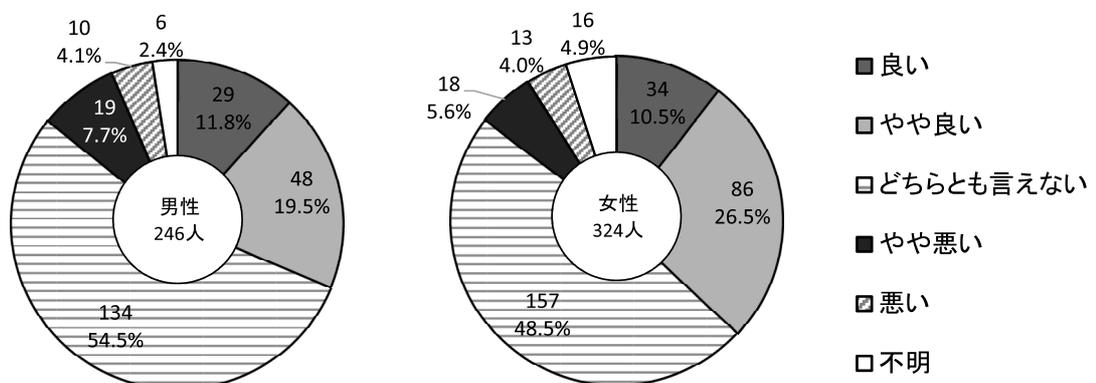


男女別にみると、“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）は、男性が24.6%、女性が30.9%で、“悪い”評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）は、男性が11.3%、女性が8.2%となっており、女性の評価が高くなっている。

前回調査と比較すると、“良い”評価は、男性は7.4ポイント増（17.2%→24.6%）、女性は7.8ポイント増（23.1%→30.9%）となっており、共に評価は上昇している。

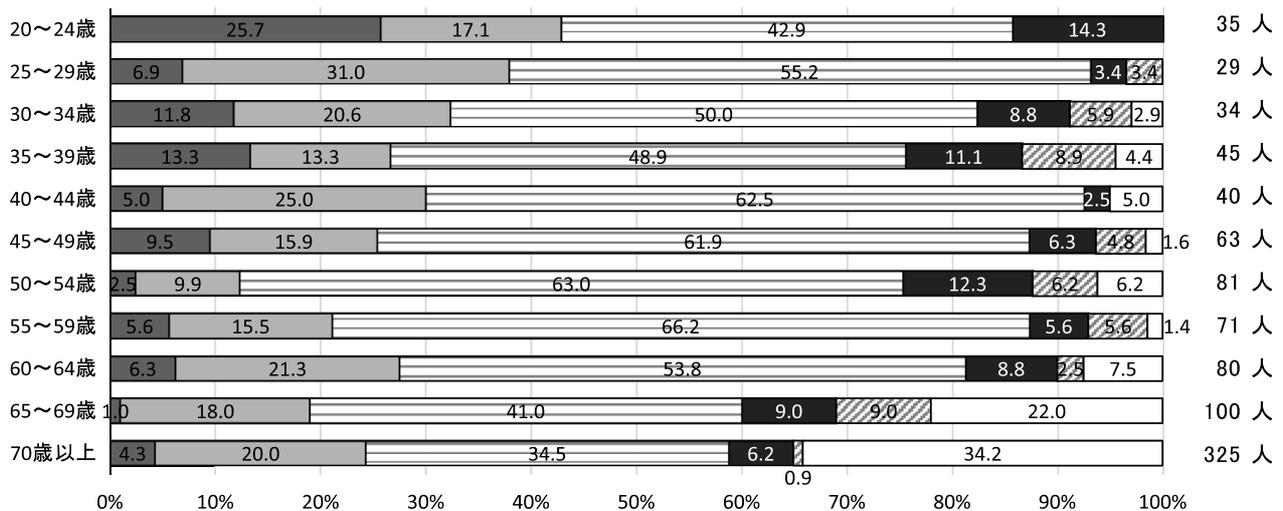
50歳未満でみると、“良い”評価は、男性が31.3%、女性が37.0%で、全体よりもさらに高くなっており、特に保育サービスの充実が評価されていることがうかがえる。

問 29 (3) 保育や介護の施設やサービスの充実【男女別・50歳未満】

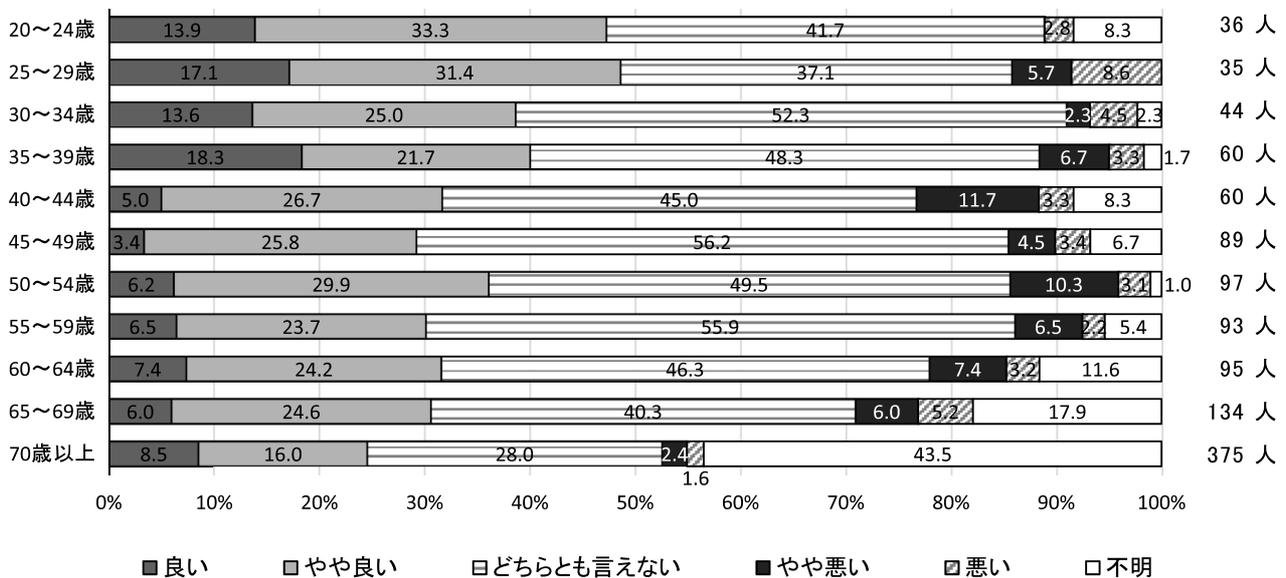


問 29 (3) 保育や介護の施設やサービスの充実

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では、20代や30代前半の若い年齢層で“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）の割合が3割以上と高くなっているが、50代以上で低くなっている。

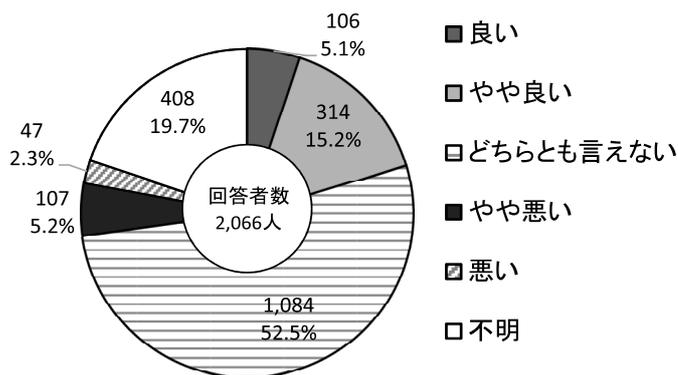
一方、女性では、70歳未満の全年齢層で概ね30%以上の“良い”評価を得ているが、特に20代・30代の若い年齢層で“良い”評価の割合が概ね4割以上と高くなっており、子育て支援策に力を入れている結果があらわれていると考えられる。

## エ 学校教育や社会教育の充実

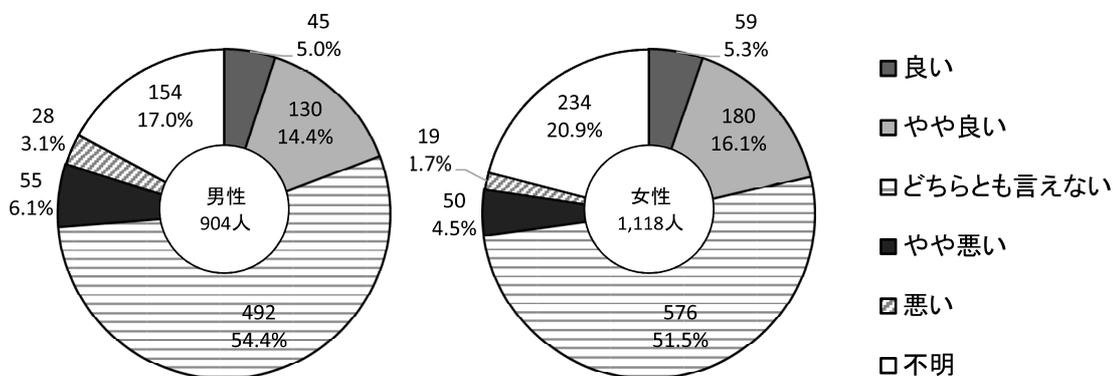
男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実については、「良い」が5.1%、「やや良い」が15.2%で、「良い」評価の合計は20.3%となっている。

一方、「悪い」は2.3%、「やや悪い」は5.2%で、「悪い」評価の合計は7.5%となっている。

問29(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する  
学校教育や社会教育の充実



問29(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実【男女別】



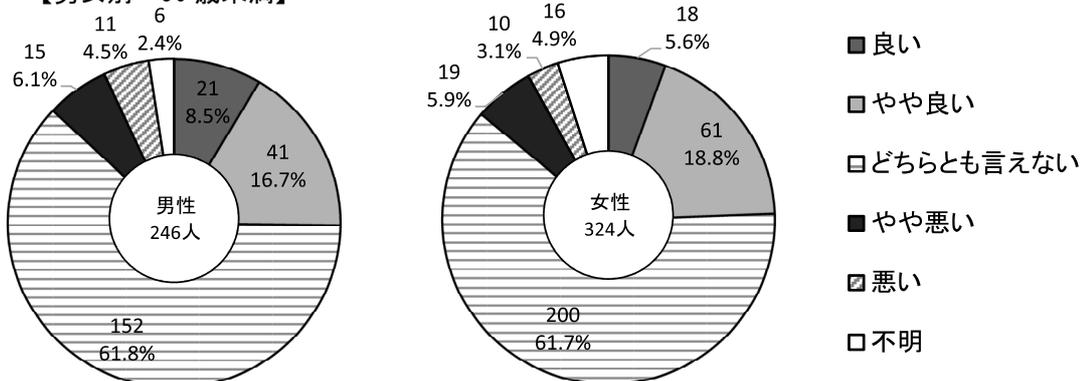
男女別にみると、「良い」評価（「良い」「やや良い」割合の合計）は、男性が19.4%、女性が21.4%で、「悪い」評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）は、男性が9.2%、女性が6.2%となっており、女性の評価が高くなっている。

前回調査と比較すると、「良い」評価は、男性は5.3ポイント増（14.1%→19.4%）、女性は3.7ポイント増（17.7%→21.4%）となっており、共に評価は上昇している。

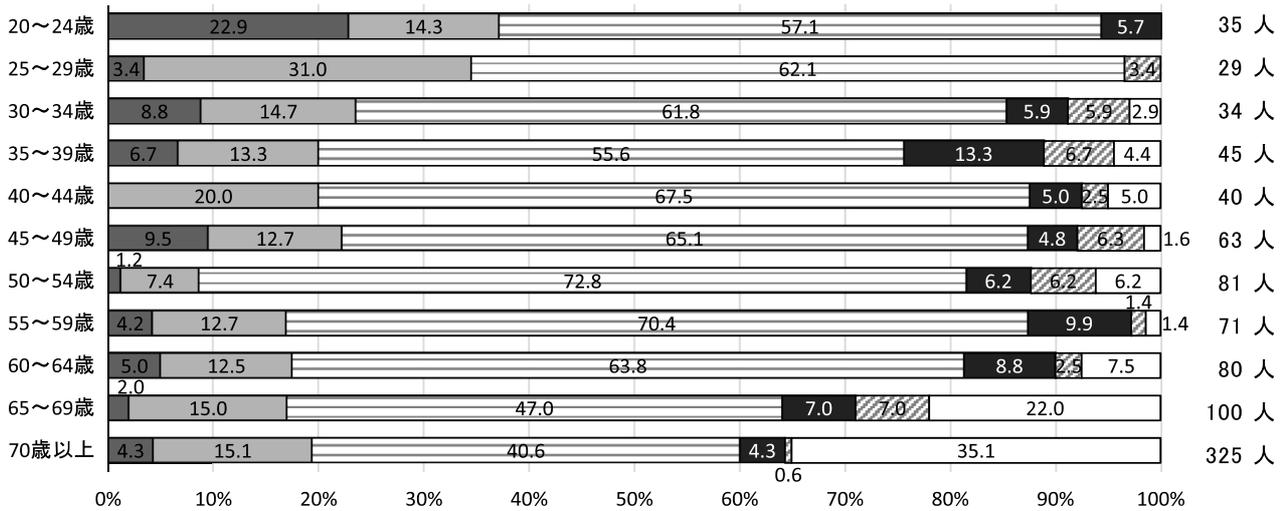
50歳未満でみると、「良い」評価は、男性が25.2%、女性が24.4%で、全体よりも高くなっており、若い世代への学校教育や社会教育の充実が進んでいることがうかがえる。

問29(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実

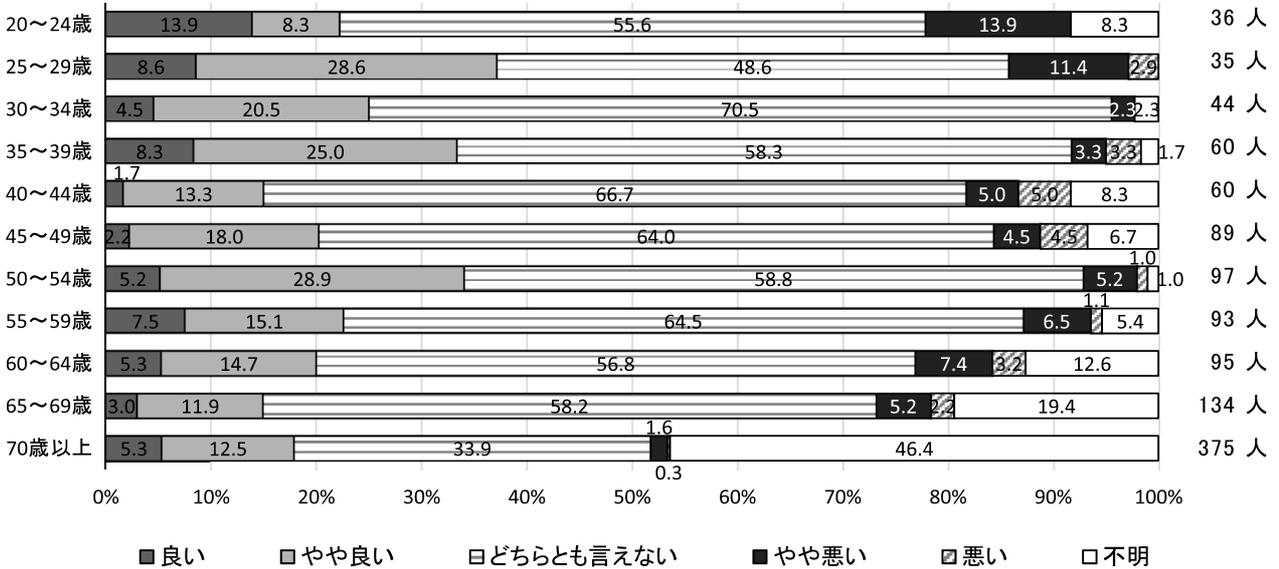
### 【男女別・50歳未満】



問 29 (4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実  
【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



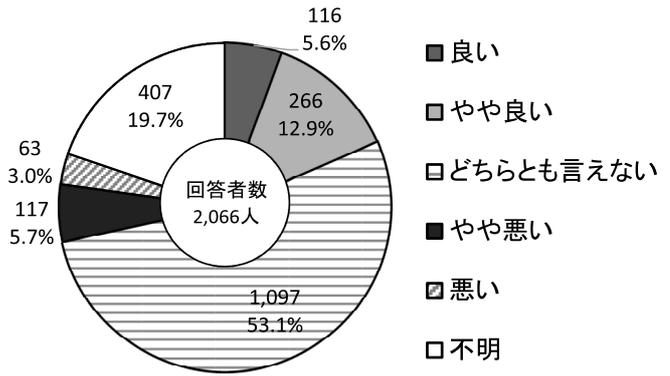
男女別・年齢別にみると、男性では、“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）の割合が20代で3割以上と高く、30代・40代では2割を超えており、若年層では比較的评价が高くなっている。一方、女性では、20代後半や30代後半の若い年齢層や、50代前半で“良い”評価の割合が3割以上となっているものの、40代では低くなっており、子どもたちへの学校教育の更なる充実やあらゆる年代に向けた社会教育の充実が必要と考えられる。

## オ 相談や交流の場の提供

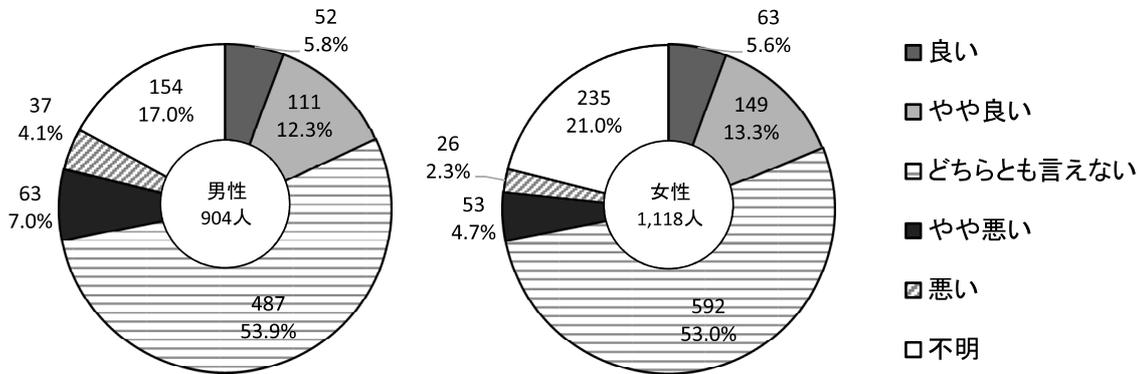
### 問 29（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供

男女の生き方に関する相談や交流の場の提供については、「良い」が 5.6%、「やや良い」が 12.9%で、「良い」評価の合計は 18.5%となっている。

一方、「悪い」は 3.0%、「やや悪い」は 5.7%で、「悪い」評価の合計は 8.7%となっている。



### 問 29（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供【男女別】

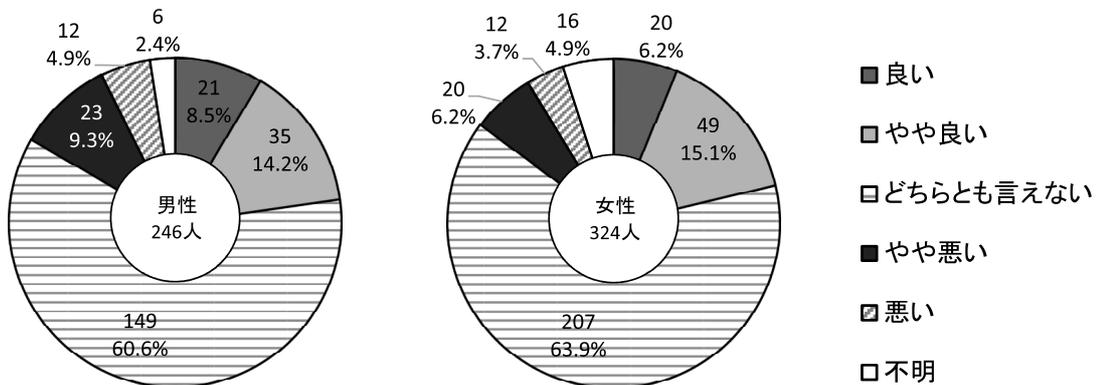


男女別にみると、「良い」評価（「良い」「やや良い」割合の合計）は、男性が 18.1%、女性が 18.9%であり変わらないが、「悪い」評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）は、男性が 11.1%、女性が 7.0%と、男性の評価が悪くなっている。

前回調査と比較すると、「良い」評価は、男性は 3.7 ポイント増（14.4%→18.1%）、女性は 3.3 ポイント増（15.6%→18.9%）となっており、共に評価は若干上昇している。

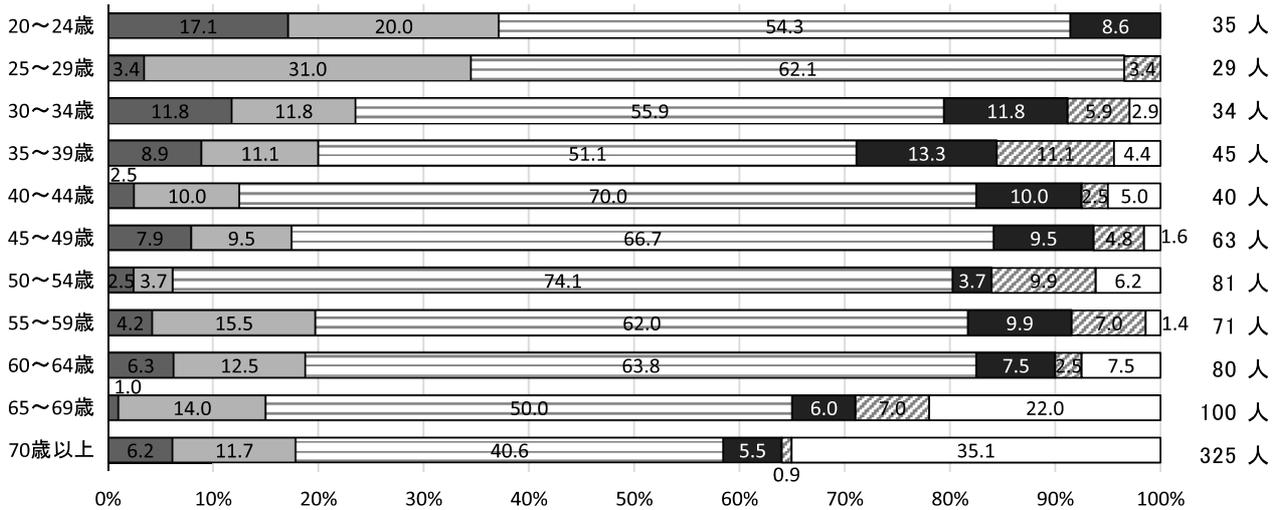
50 歳未満でみると、「良い」評価は、男性が 22.7%、女性が 21.3%で、男女の差は少ないが、「悪い」評価は、男性が 14.2%、女性が 9.9%で、比較的若い男性は相談や交流の場を求めていることがうかがえる。

### 問 29（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供【男女別・50 歳未満】

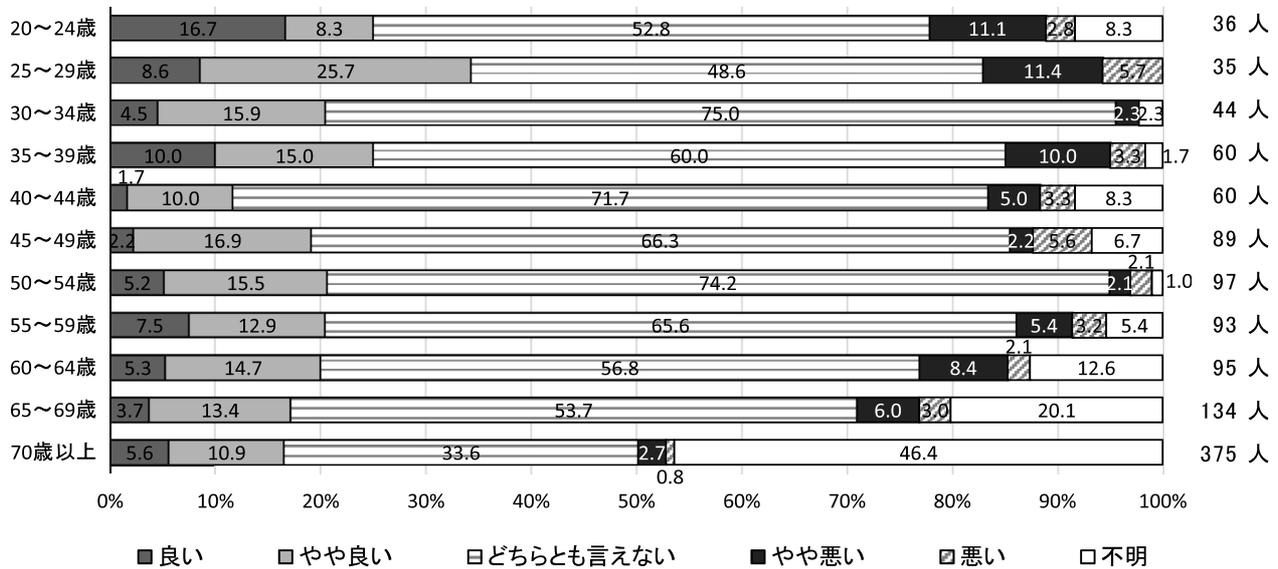


問 29 (5) 男女の生き方に関する相談や交流の場の提供

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】

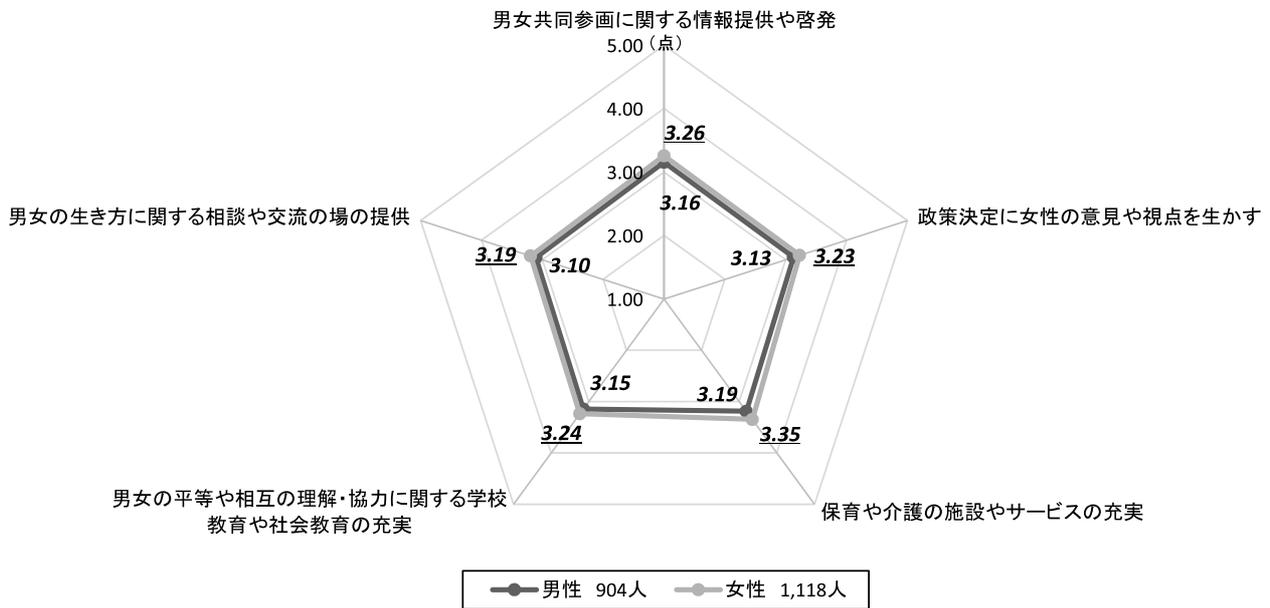


男女別・年齢別にみると、男性では、“良い”評価（「良い」「やや良い」割合の合計）の割合が20代で3割以上と高く、一方で30代などでは“悪い”評価（「悪い」「やや悪い」割合の合計）が2割を超えているほか、40代や50代でも“悪い”評価の割合が女性に比べて高くなっており、男性の現役世代は相談や交流の場を求めていることがうかがえる。

一方、女性では、20代や30代後半の若い年齢層で“良い”評価の割合が高く、40代以上の中高年齢層で若干評価が低くなっている。

## カ 市が行っている現在の取組の評価（項目比較）

### 問 29 市が行っている現在の取組の評価の平均【男女別】



※評価の平均：「良い」→5点、「やや良い」→4点、「どちらとも言えない」→3点、「やや悪い」→2点、「悪い」→1点で、平均値を算出（不明は除く）

男女別に現在の取組の評価について平均を算出すると、全項目で男女共に3.00点を若干上回り、男性よりも女性の評価が高くなっている。

項目別に比較すると、「保育や介護の施設やサービスの充実」は男女共に最も評価が高く、特に女性の評価が3.35点と高くなっている。一方、「男女の生き方に関する相談や交流の場」は男女共に最も評価が低くなっており、男性の評価は3.10点と低くなっている。

問 29 市が行っている現在の取組の評価の平均

【男性・年齢別】

	男女共同参画に関する 情報提供や啓発	政策決定に女性の意見 や視点を生かす	保育や介護の施設や サービスの充実	男女の平等や相互の理 解・協力に関する学校教 育や社会教育の充実	男女の生き方に関する 相談や交流の場の提供
20～24歳	3.49	3.40	3.54	3.54	3.46
25～29歳	3.24	3.38	3.34	3.31	3.31
30～34歳	3.24	3.24	3.24	3.15	3.12
35～39歳	2.95	3.09	3.12	3.00	2.93
40～44歳	3.03	3.00	3.34	3.11	3.00
45～49歳	3.16	3.06	3.19	3.15	3.06
50～54歳	2.87	2.87	2.89	2.91	2.84
55～59歳	3.07	3.14	3.10	3.09	3.00
60～64歳	3.07	3.14	3.22	3.09	3.14
65～69歳	3.04	2.96	2.91	2.97	2.95
70歳以上	3.34	3.23	3.31	3.28	3.26

【女性・年齢別】

	男女共同参画に関する 情報提供や啓発	政策決定に女性の意見 や視点を生かす	保育や介護の施設や サービスの充実	男女の平等や相互の理 解・協力に関する学校教 育や社会教育の充実	男女の生き方に関する 相談や交流の場の提供
20～24歳	3.35	3.24	3.61	3.24	3.27
25～29歳	3.17	3.37	3.43	3.29	3.20
30～34歳	3.19	3.30	3.42	3.28	3.23
35～39歳	3.31	3.32	3.46	3.32	3.19
40～44歳	3.13	3.07	3.20	3.02	3.02
45～49歳	3.19	3.14	3.23	3.10	3.08
50～54歳	3.27	3.23	3.26	3.32	3.20
55～59歳	3.26	3.24	3.27	3.23	3.17
60～64歳	3.19	3.05	3.29	3.13	3.14
65～69歳	3.23	3.18	3.25	3.10	3.11
70歳以上	3.35	3.32	3.49	3.39	3.33

■ 3.00点以上 ■ 3.20点以上

※評価の平均：「良い」→5点、「やや良い」→4点、「どちらとも言えない」→3点、「やや悪い」→2点、「悪い」→1点で、平均値を算出（不明は除く）

男女別・年齢別にみると、男性では、20代、30代前半の若い年齢層で全般的に評価が高くなっている。特に、「保育や介護の施設やサービスの充実」は3.00点以上の項目が多く、評価が高くなっている。

一方で、50代前半や60代後半の評価は全般的に低くなっている。

また、女性では、全年齢層で全項目3.00点以上の評価となっており、特に、「保育や介護の施設やサービスの充実」は、全年齢層で3.20点以上と評価が高くなっている。

#### (4) 男女共同参画の各施策の重要度

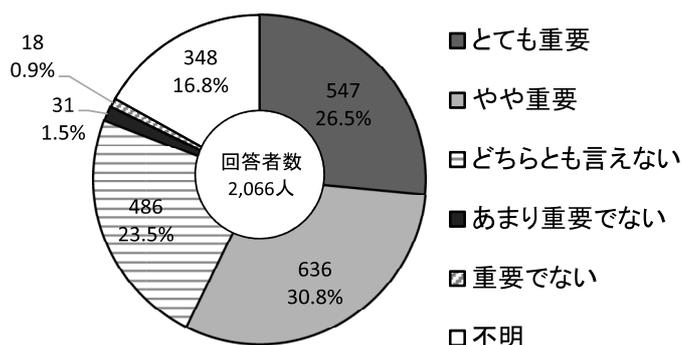
問 30 あなたは、男女共同参画社会を実現するための今後の市の政策として、次の(1)～(5)の取組はどのくらい重要だと思いますか。(各項目1つ選択)

	とても重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
(1)男女共同参画に関する情報提供や啓発を行う	5点	4点	3点	2点	1点
(2)政策決定に女性の意見や視点を生かす	5点	4点	3点	2点	1点
(3)保育や介護の施設やサービスを充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(4)男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育を充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(5)男女の生き方に関する相談や交流の場を提供する	5点	4点	3点	2点	1点

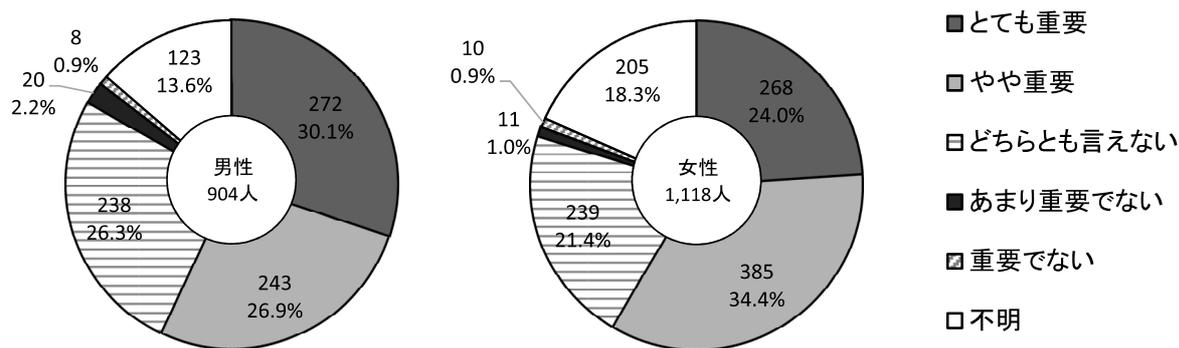
#### ア 男女共同参画に関する情報提供や啓発

各施策について今後の重要度をみると、男女共同参画に関する情報提供や啓発については、「とても重要」が26.5%、「やや重要」が30.8%で、“重要”としている割合の合計は57.3%となっている。

問 30 (1) 男女共同参画に関する情報提供や啓発



問 30（1）男女共同参画に関する情報提供や啓発【男女別】

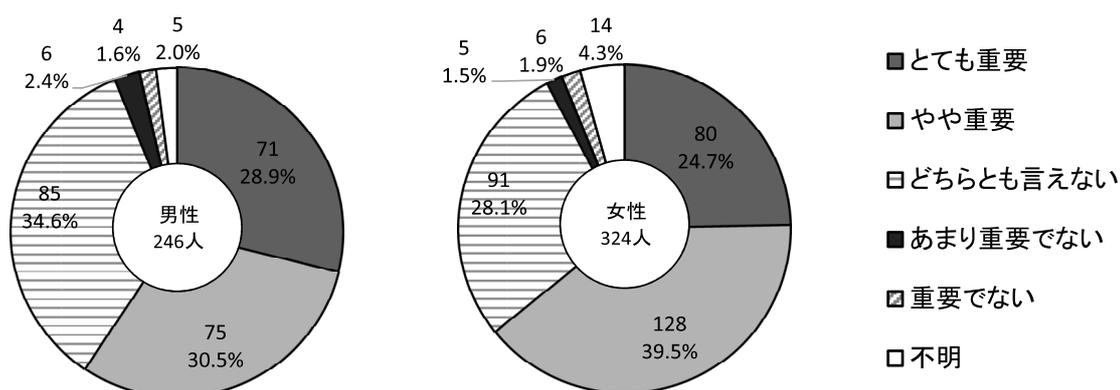


男女別にみると、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合は、男性が 57.0%、女性が 58.4%で、男女で大きな差はみられない。

前回調査と比較すると、男女共にあまり大きな変化はみられない（男性：59.6%→57.0%、女性 57.3%→58.4%）。

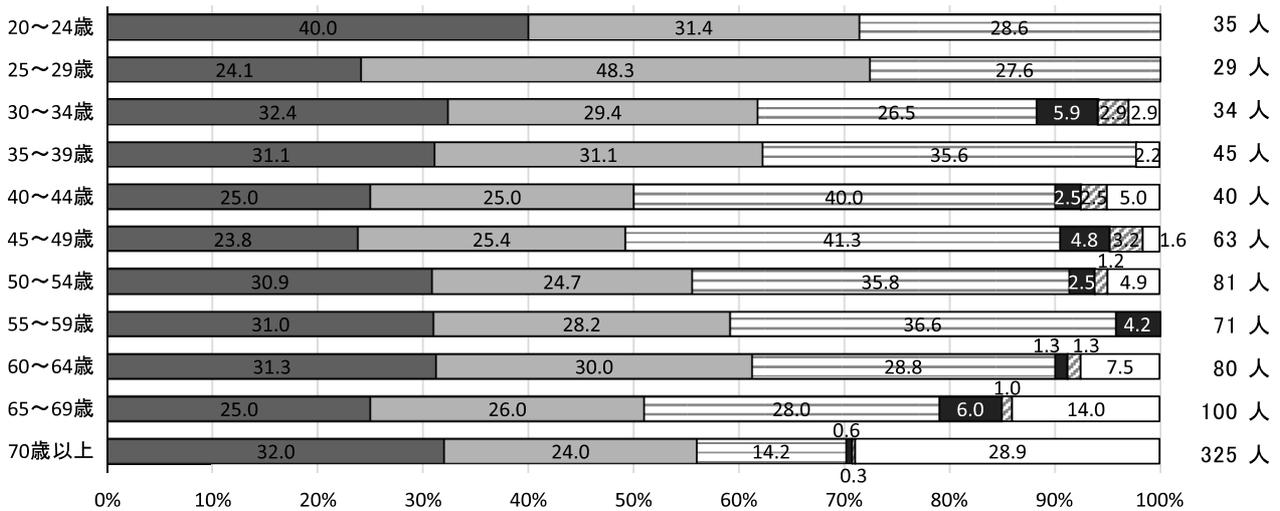
50 歳未満でみると、“重要”としている割合は、男性が 59.4%、女性が 64.2%で、比較的若い世代では女性の方が情報提供や啓発を重要と捉えていることがわかる。

問 30（1）男女共同参画に関する情報提供や啓発【男女別・50 歳未満】

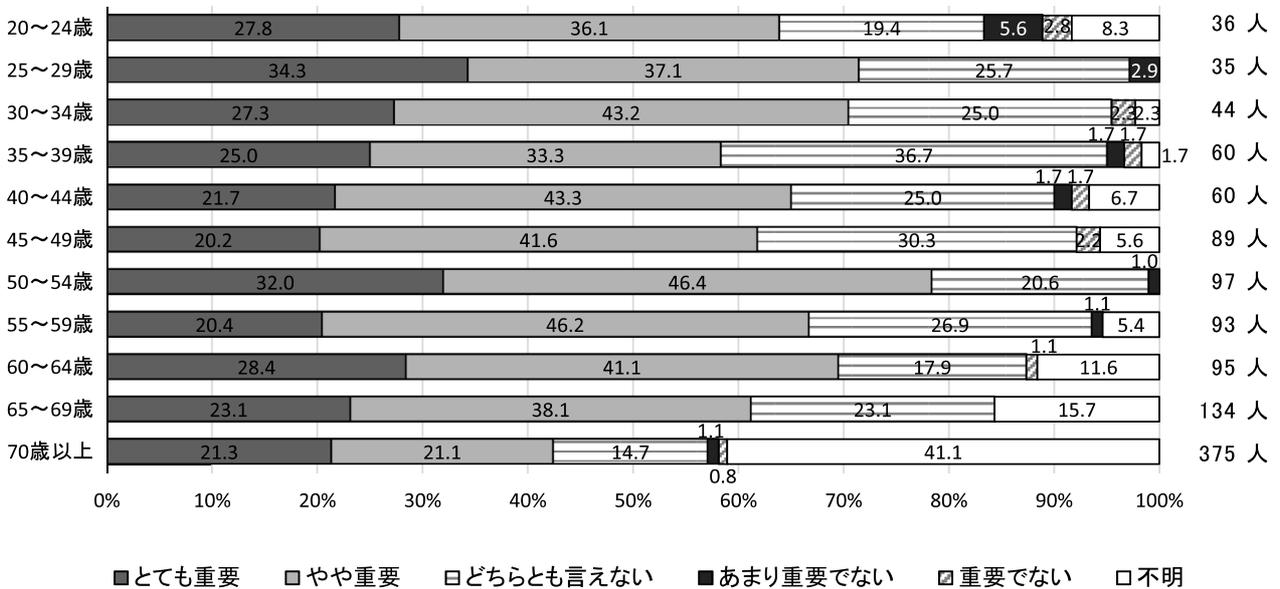


問 30 (1) 男女共同参画に関する情報提供や啓発

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■とても重要 □やや重要 □どちらとも言えない ■あまり重要でない □重要でない □不明

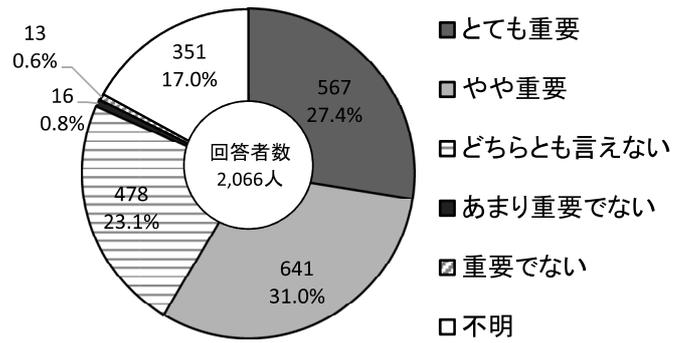
男女別・年齢別にみると、男性では20代・30代の若い年齢層で、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合が高くなっている。

一方、女性では、20代から60代までの年齢層で“重要”としている割合が概ね6割を超えている状況にあり、幅広い年代で情報提供や啓発を重要であると捉えている傾向にある。

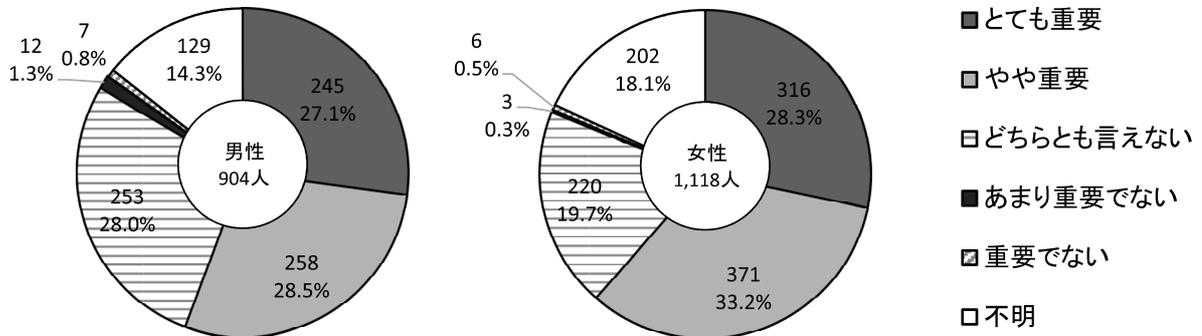
## イ 政策決定に女性の意見や視点を生かす

政策決定に女性の意見や視点を生かすことについては、「とても重要」が27.4%、「やや重要」が31.0%で、「重要」としている割合の合計は58.4%となっている。

問30(2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす



問30(2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす【男女別】

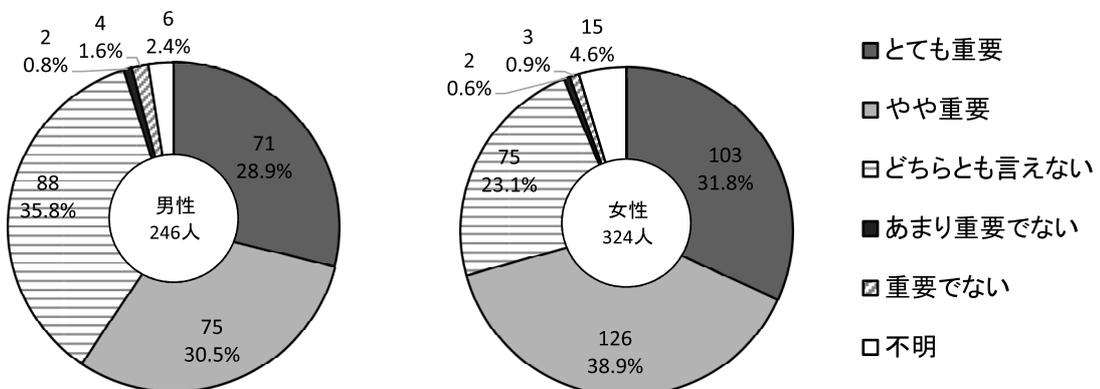


男女別にみると、「重要」としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合は、男性が55.6%、女性が61.5%で、女性の方が5.9ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、男性は1.9ポイント減(57.5%→55.6%)だが、女性は2.0ポイント増(59.5%→61.5%)で、女性は重要と捉える傾向がより強くなっている。

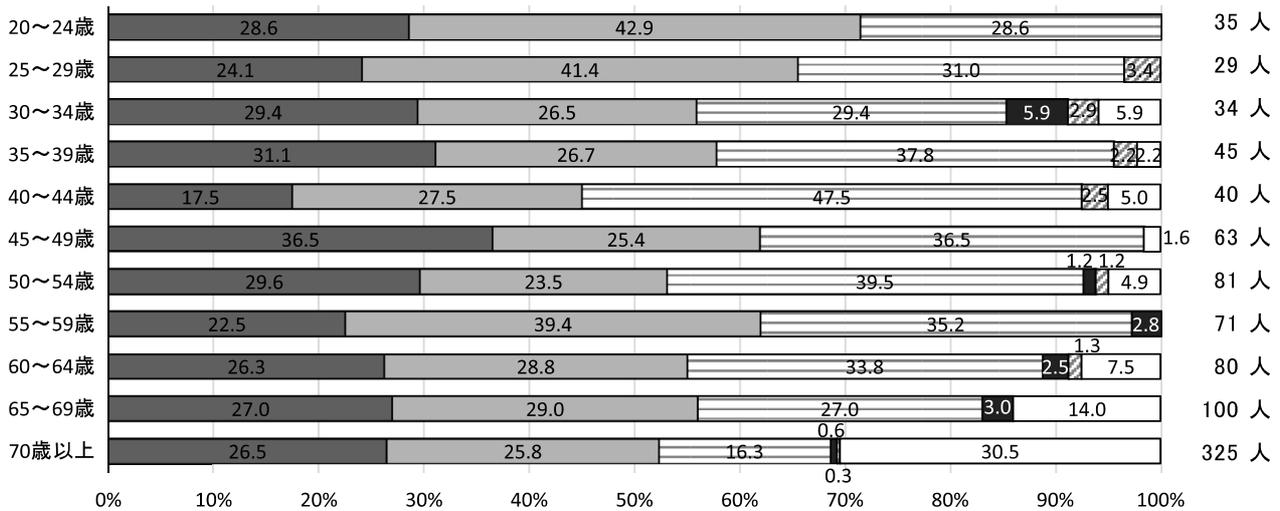
50歳未満でみると、「重要」としている割合は、男性が59.4%、女性が70.7%で、特に若い年代の女性は政策決定に女性の意見や視点を生かすことが重要と捉えている傾向にある。

問30(2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす【男女別・50歳未満】

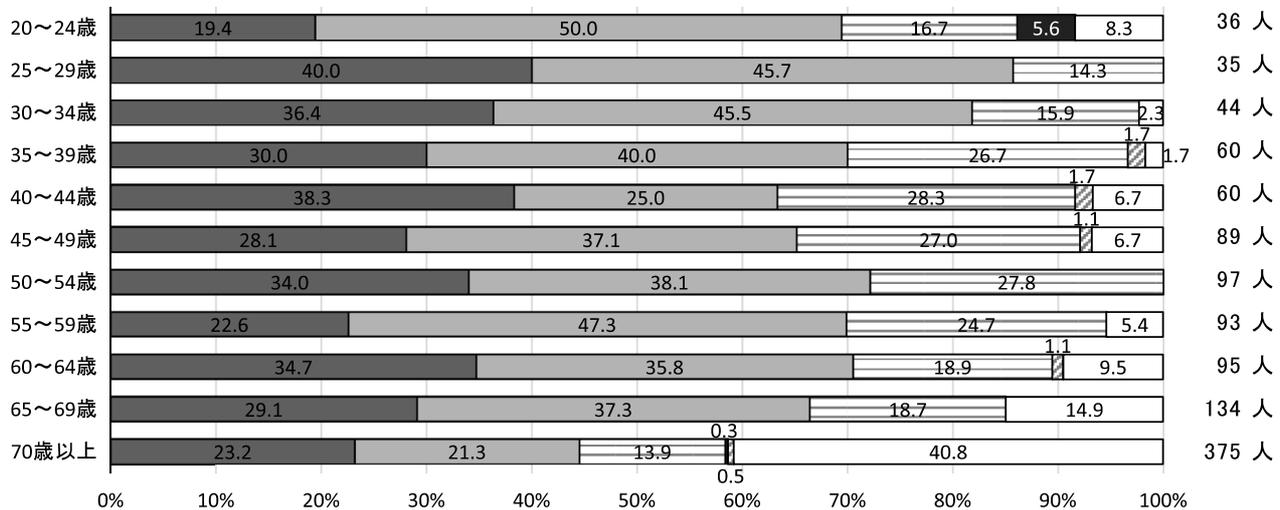


問 29 (2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■とても重要 □やや重要 □どちらとも言えない ■あまり重要でない □重要でない □不明

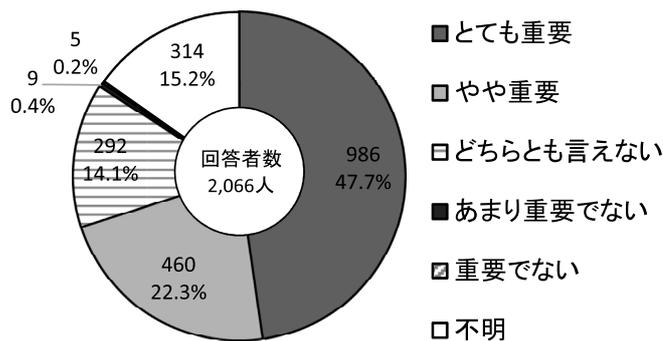
男女別・年齢別にみると、男性では20代の若い年齢層で、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合が高くなっている。

一方、女性では、20代から60代までの年齢層で“重要”としている割合が6割から7割と高くなっており、このうち特に20代後半や30代前半では8割以上が政策決定に女性の意見や視点を生かすことが重要であると捉えている。

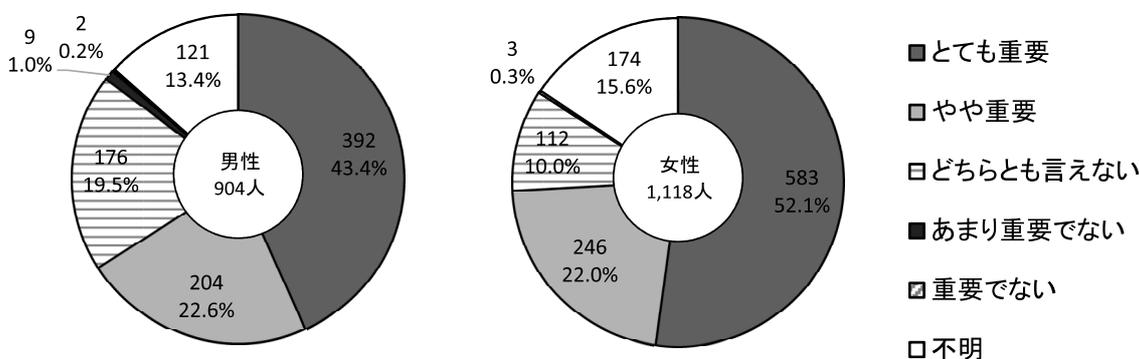
## ウ 保育や介護の施設やサービスの充実

保育や介護の施設やサービスの充実については、「とても重要」が47.7%、「やや重要」が22.3%で、“重要”としている割合の合計は7割となっている。

問 30（3）保育や介護の施設やサービスの充実



問 30（3）保育や介護の施設やサービスの充実【男女別】

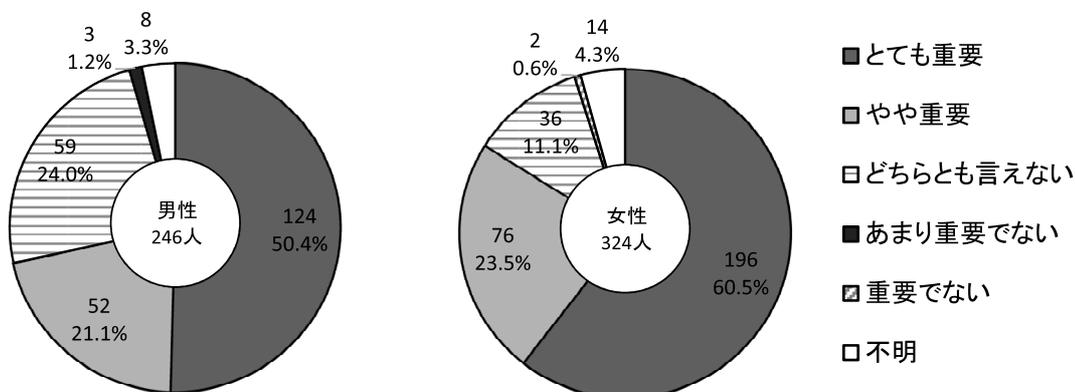


男女別にみると、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合は、男性が66.0%、女性が74.1%で、女性の方が7割を超えて高くなっている。

前回調査と比較すると、男性は5.3ポイント減（71.3%→66.0%）、女性は1.1ポイント減（75.2%→74.1%）であるものの、依然として重要性は高くなっている。

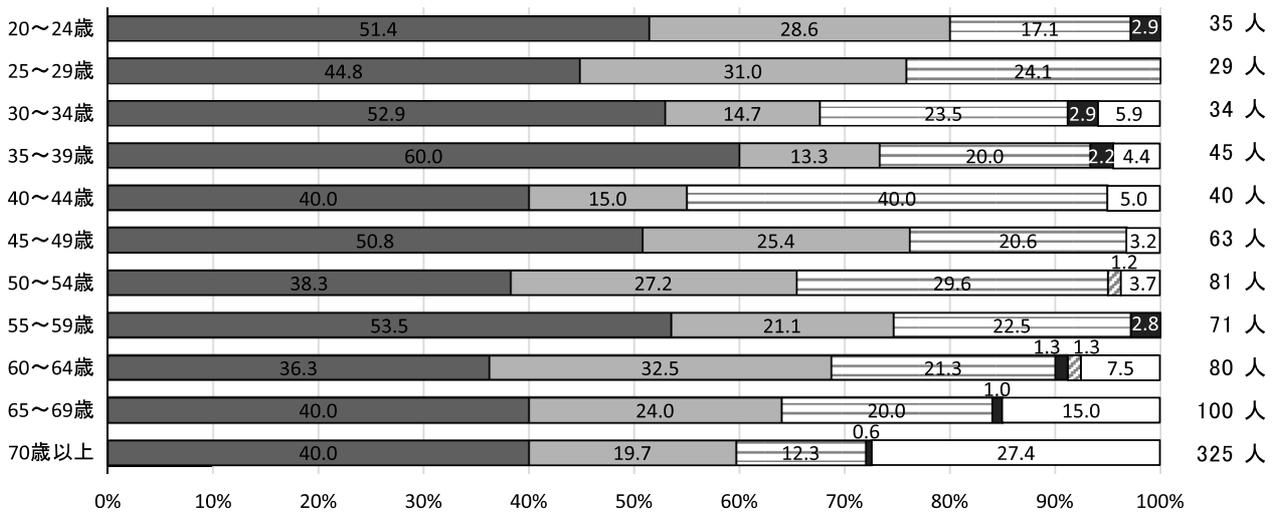
50歳未満でみると、“重要”としている割合は、男性が71.5%、女性が84.0%で、特に若い年代の女性の8割は保育や介護の施設やサービスの充実が今後も重要と捉えている。

問 30（3）保育や介護の施設やサービスの充実【男女別・50歳未満】

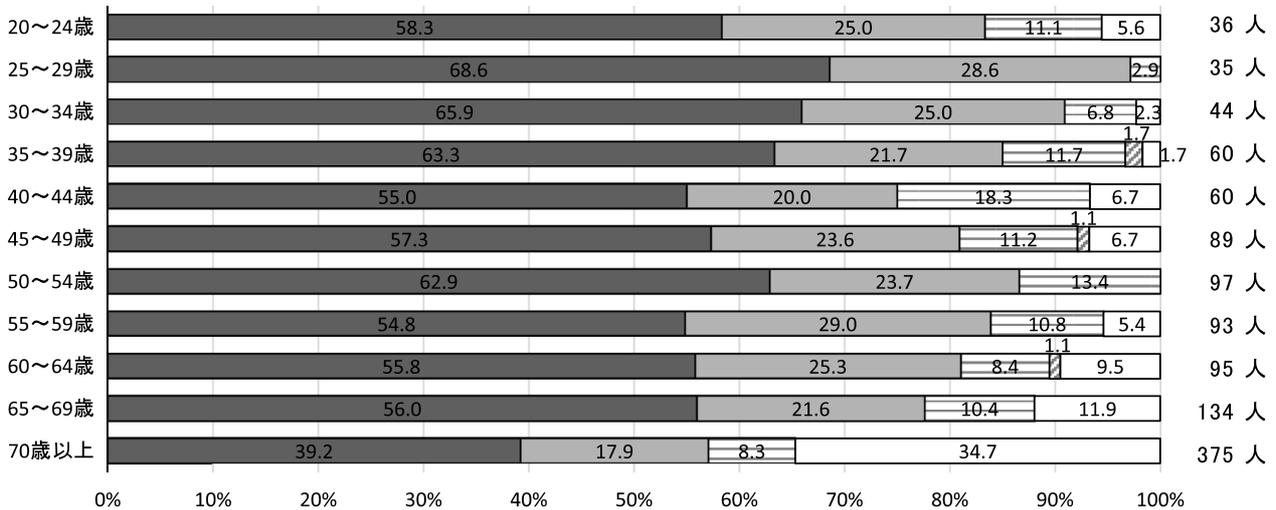


問 30 (3) 保育や介護の施設やサービスの充実

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■とても重要 □やや重要 □どちらとも言えない ■あまり重要でない □重要でない □不明

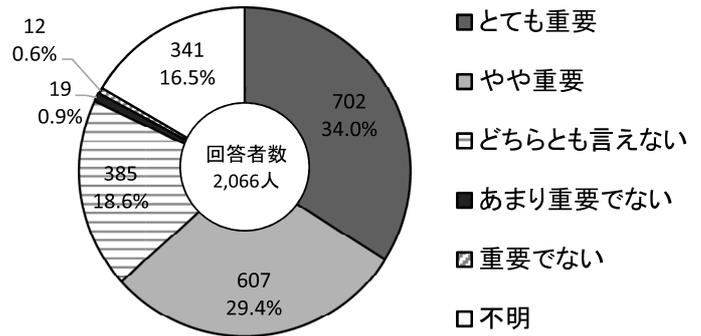
男女別・年齢別にみると、男性では特に20代の若い年齢層で、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合が高くなっている。

一方、女性では、20代から60代までの年齢層で男性よりも“重要”としている割合が高くなっており、特に20代後半や30代前半のこれから子育てをする年齢層では9割以上が保育や介護の施設やサービスの充実が重要であると捉えている。

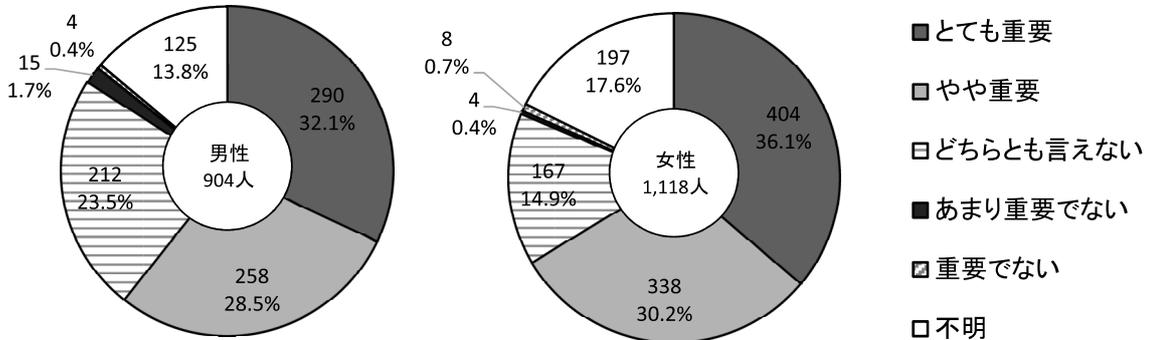
## エ 学校教育や社会教育の充実

男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実については、「とても重要」が34.0%、「やや重要」が29.4%で、「重要」としている割合の合計は63.4%となっている。

問30(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実



問30(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実【男女別】



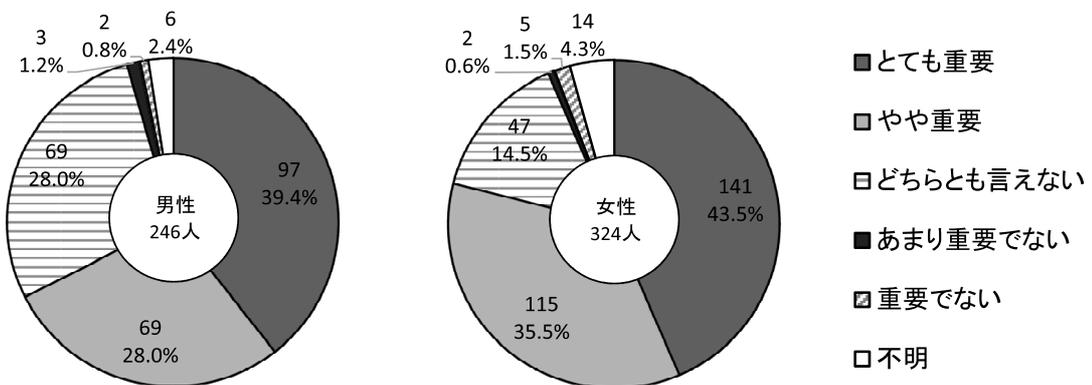
男女別にみると、「重要」としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合は、男性が60.6%、女性が66.3%で、女性の方が5.7ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、「重要」としている割合は、男女共にあまり変化していない（男性：62.8%→60.6%、女性：65.5%→66.3%）。

50歳未満でみると、「重要」としている割合は全体よりも男女共に高い割合となり、男性が67.4%、女性が79.0%で、特に若い年代の女性の8割は男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実が今後も重要と捉えている。

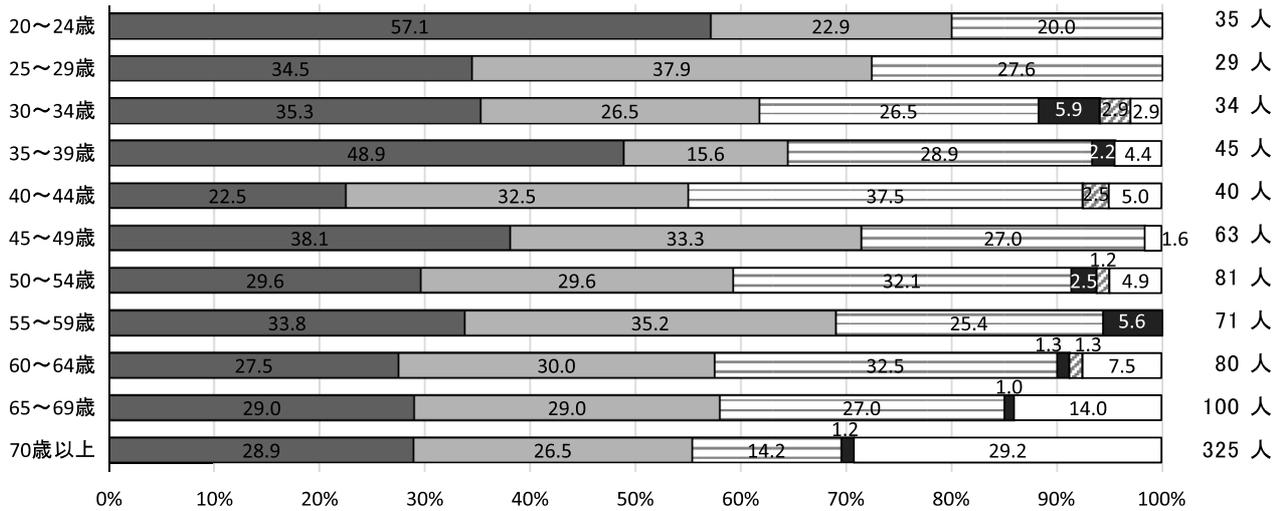
問30(4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実

【男女別・50歳未満】

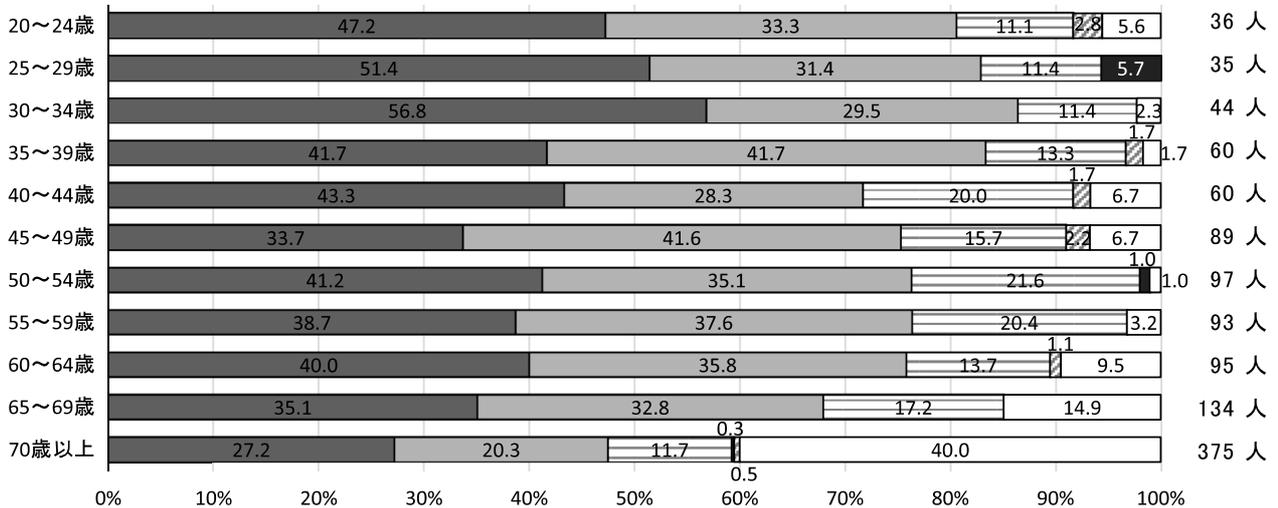


問 30 (4) 男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



■とても重要 □やや重要 □どちらとも言えない ■あまり重要でない □重要でない □不明

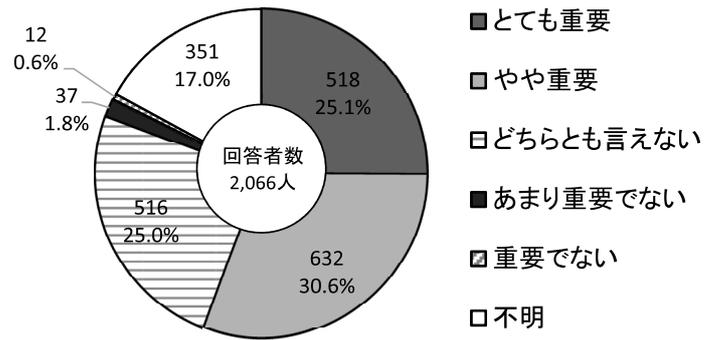
男女別・年齢別にみると、男性では特に20代の若い年齢層で、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合が高くなっている。

一方、女性では、20代から60代までの年齢層で男性よりも“重要”としている割合が高くなっており、特に20代や30代の子育て層では男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実が今後も重要と捉えている。

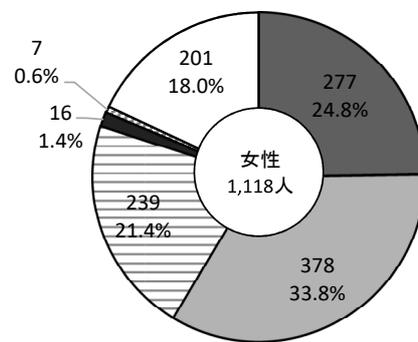
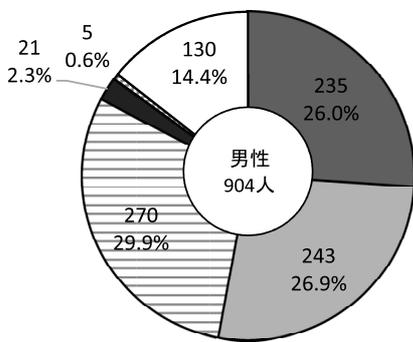
## オ 相談や交流の場の提供

### 問 30（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供

男女の生き方に関する相談や交流の場の提供については、「とても重要」が25.1%、「やや重要」が30.6%で、“重要”としている割合の合計は55.7%となっている。



### 問 30（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供【男女別】

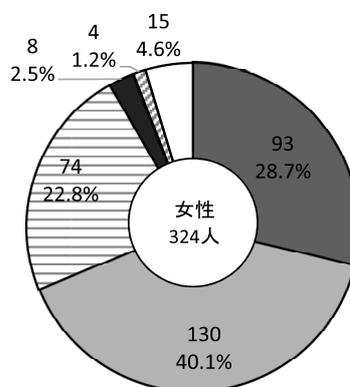
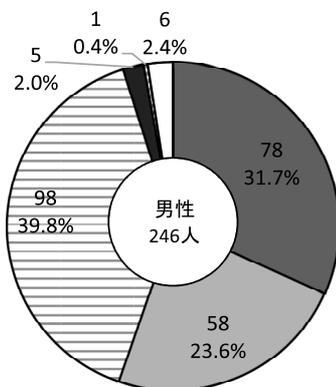


男女別にみると、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合は、男性が52.9%、女性が58.6%で、女性の方が5.7ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、男性は3.9ポイント減（56.8%→52.9%）、女性は3.3ポイント増（55.3%→58.6%）と、女性は重要と捉える傾向がより強くなっている。

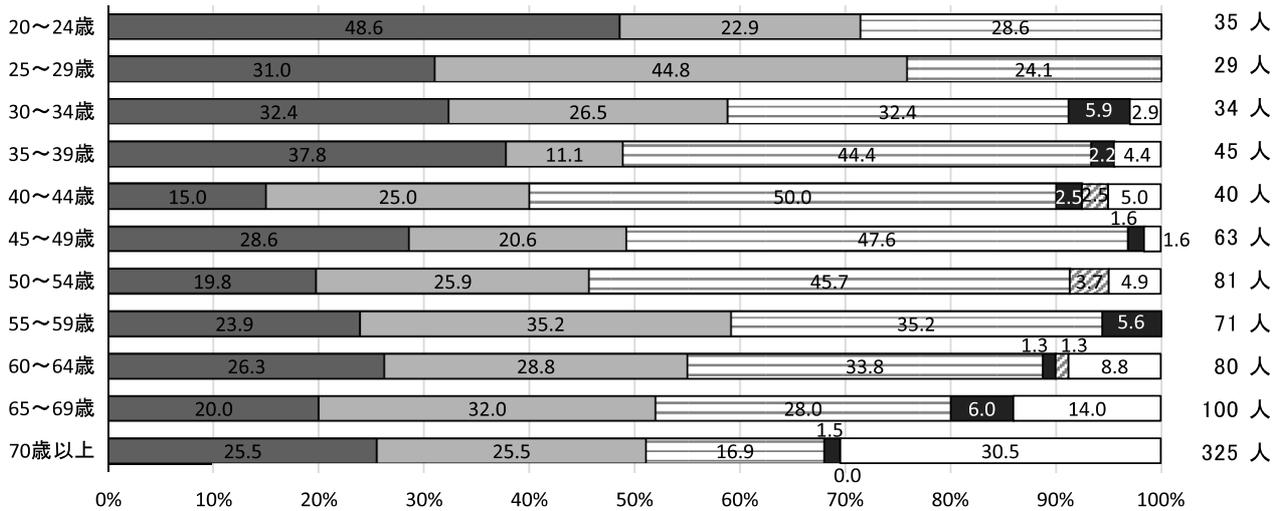
50歳未満でみると、“重要”としている割合は、男性が55.3%、女性が68.8%で、特に若い年代の女性の7割は相談や交流の場の提供が今後も重要と捉えている。

### 問 30（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供【男女別・50歳未満】

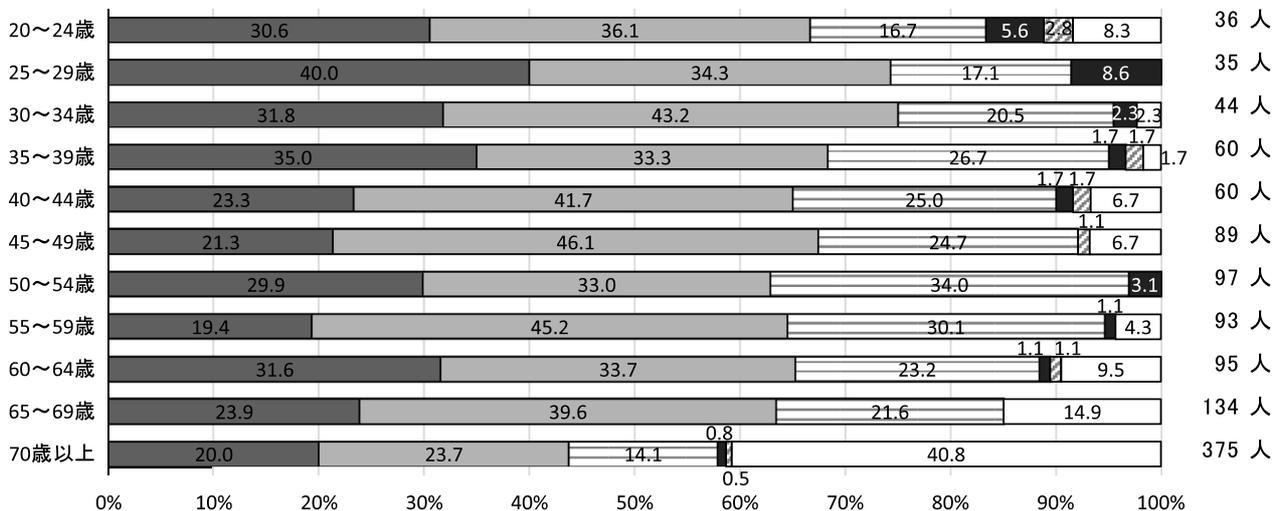


問 30（5）男女の生き方に関する相談や交流の場の提供

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



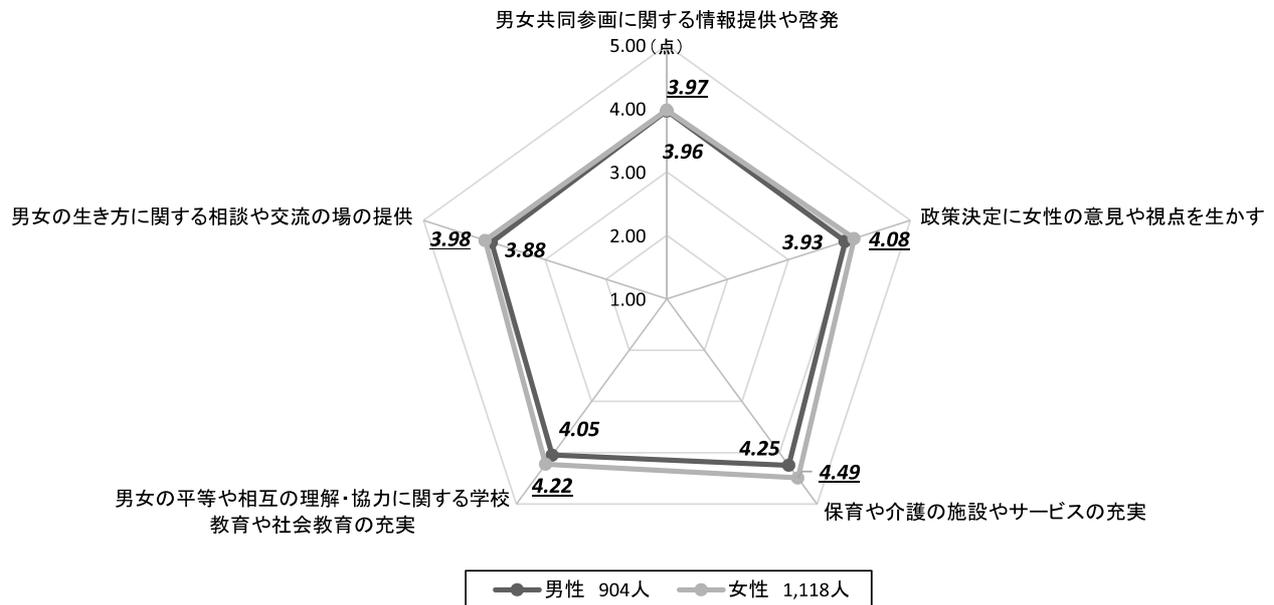
■とても重要 □やや重要 □どちらとも言えない ■あまり重要でない □重要でない □不明

男女別・年齢別にみると、男性では特に20代の若い年齢層で、“重要”としている（「とても重要」「やや重要」の合計）割合が7割を超えて高くなっている。特に20代前半は約半数が「とても重要」と回答している。

一方、女性では、30代から60代までの年齢層で男性よりも“重要”としている割合が高くなっており、20代後半や30代前半の年齢層では相談や交流の場の提供が今後も重要と捉えている。

## カ 男女共同参画の各施策の重要度（項目比較）

### 問 30 各施策の今後の重要度の平均【男女別】



※評価の平均：「とても重要」→5点、「やや重要」→4点、「どちらとも言えない」→3点、「あまり重要でない」→2点、「重要でない」→1点で、平均値を算出（不明は除く）

男女別に今後の各施策の重要度について平均を算出すると、全項目で、男性よりも女性の重要度が高くなっている。

項目別に比較すると、「保育や介護の施設やサービスの充実」は男女共に最も重要度が高く、特に女性の重要度は4.49点と高くなっている。また、「男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実」や「政策決定に女性の意見や視点を生かす」の重要度も、女性では4.00点を超えて高くなっており、今後も重要な施策となると考えられる。一方、「男女の生き方に関する相談や交流の場」は男性の重要度が3.88点と低くなっている。

問 30 各施策の今後の重要度の平均

【男性・年齢別】

	男女共同参画に関する 情報提供や啓発	政策決定に女性の意見 や視点を生かす	保育や介護の施設や サービスの充実	男女の平等や相互の理 解・協力に関する学校教 育や社会教育の充実	男女の生き方に関する 相談や交流の場の提供
20～24歳	4.11	4.00	<b>4.29</b>	<b>4.37</b>	<b>4.20</b>
25～29歳	3.97	3.83	<b>4.21</b>	4.07	4.07
30～34歳	3.85	3.78	<b>4.25</b>	3.88	3.88
35～39歳	3.95	3.86	<b>4.37</b>	4.16	3.88
40～44歳	3.71	3.61	4.00	3.76	3.50
45～49歳	3.63	4.00	<b>4.31</b>	4.11	3.77
50～54歳	3.86	3.83	4.05	3.88	3.61
55～59歳	3.86	3.82	<b>4.25</b>	3.97	3.77
60～64歳	3.96	3.82	4.09	3.88	3.85
65～69歳	3.79	3.93	<b>4.21</b>	4.00	3.77
70歳以上	<b>4.22</b>	4.12	<b>4.36</b>	4.17	4.08

【女性・年齢別】

	男女共同参画に関する 情報提供や啓発	政策決定に女性の意見 や視点を生かす	保育や介護の施設や サービスの充実	男女の平等や相互の理 解・協力に関する学校教 育や社会教育の充実	男女の生き方に関する 相談や交流の場の提供
20～24歳	3.88	3.91	<b>4.50</b>	<b>4.29</b>	3.94
25～29歳	4.03	<b>4.26</b>	<b>4.66</b>	<b>4.29</b>	4.06
30～34歳	3.95	<b>4.21</b>	<b>4.60</b>	<b>4.47</b>	4.07
35～39歳	3.80	3.98	<b>4.47</b>	<b>4.24</b>	4.00
40～44歳	3.88	4.05	<b>4.39</b>	4.20	3.89
45～49歳	3.82	3.98	<b>4.46</b>	4.12	3.93
50～54歳	4.09	4.06	<b>4.49</b>	4.18	3.90
55～59歳	3.91	3.98	<b>4.47</b>	4.19	3.87
60～64歳	4.08	4.14	<b>4.49</b>	<b>4.26</b>	4.03
65～69歳	4.00	4.12	<b>4.52</b>	<b>4.21</b>	4.03
70歳以上	4.04	4.12	<b>4.47</b>	<b>4.22</b>	4.05

■ 4.00点以上    ■ 4.20点以上

※評価の平均：「とても重要」→5点、「やや重要」→4点、「どちらとも言えない」→3点、  
「あまり重要でない」→2点、「重要でない」→1点で、平均値を算出（不明は除く）

男女別・年齢別にみると、男性では、「保育や介護の施設やサービスの充実」が全年齢層で重要度が4.00点を超えて高くなっており、幅広い年代で重視されている。また、「男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実」や「男女の生き方に関する相談や交流の場の提供」は、20代で重要度が高くなっている。

また、女性では、「保育や介護の施設やサービスの充実」の重要度が、全年齢層で4.20点以上となっており、幅広い年代で今後も重要な施策と捉えられている。「男女の平等や相互の理解・協力に関する学校教育や社会教育の充実」は、全年齢層で4.00点以上で、特に20代・30代の子育て世代や60代以上の高齢層で4.20点以上と重視されている。「政策決定に女性の意見や視点を生かす」は、20代後半や30代前半で特に重要度が高くなっている。